

Dell™ PowerEdge™ 500SC システム インストール&トラブルシューティング

はじめに

- [その他のマニュアル](#)
- [困ったときは](#)
- [インジケータ、メッセージ、およびコード](#)
 - [起動ルーチン](#)
 - [接続とスイッチのチェック](#)
 - [システムメッセージ](#)
 - [システムビープコード](#)
 - [警告メッセージ](#)
 - [診断メッセージ](#)
 - [システム管理サーバエージェントからの警告ログメッセージ](#)
- [ソフトウェアの問題解決](#)
 - [ソフトウェアのインストールと設定](#)
 - [ソフトウェアの使い方](#)
- [システム診断プログラムの実行](#)
 - [システム診断プログラムの機能](#)
 - [システム診断プログラムが必要な場合](#)
 - [システム診断プログラムの起動](#)
 - [システム診断プログラムの使い方](#)
 - [Device Groupsメニューの使い方](#)
 - [Device Groupsメニューのオプション](#)
 - [エラーメッセージ](#)
- [システムのトラブルシューティング](#)
 - [作業にあたっての注意](#)
 - [システムカバー およびサポートレバーの取り外しと取り付け](#)
 - [ベゼルの取り外しと取り付け](#)
 - [周辺機器のチェック](#)
 - [システムの内蔵](#)
 - [システム管理サーバエージェントメッセージへの応答](#)
 - [システムが濡れた場合のトラブルシューティング](#)
 - [システムが損傷した場合のトラブルシューティング](#)
 - [システムバッテリーのトラブルシューティング](#)
 - [電源装置のトラブルシューティング](#)
 - [冷却ファンのトラブルシューティング](#)
 - [拡張カードのトラブルシューティング](#)
 - [システムメモリのトラブルシューティング](#)
 - [ビデオサブシステムのトラブルシューティング](#)
 - [システム基板のトラブルシューティング](#)
 - [ディスクドライブのトラブルシューティング](#)
 - [CDおよびDVDドライブのトラブルシューティング](#)
 - [ハードドライブのトラブルシューティング](#)
- [システム基板オプションの取り付け](#)
 - [ファンアセンブリの取り外しと取り付け](#)
 - [拡張カードの追加と交換](#)
 - [メモリの追加](#)
 - [マイクロプロセッサのアップグレード](#)
 - [システムバッテリーの取り付け](#)
- [ドライブの取り付け](#)
 - [EIDEサブシステムの構成](#)
 - [起動デバイスの設定](#)
 - [ドライブの接続](#)
 - [ドライブケースの取り外しと取り付け](#)
 - [ハードドライブの追加または交換](#)
 - [その他のドライブの追加または交換](#)
- [困ったときは](#)
 - [ヘルプの概要](#)
 - [Dellお問い合わせ番号](#)
- [ジャンパおよびコネクタ](#)
 - [ジャンパー 概要](#)
 - [システム基板のジャンパ](#)
 - [パスワードを忘れたとき](#)
- [略語一覧](#)
- [図表](#)

メモ、注意、警告および危険

-  **メモ:** システムの操作上、知っておくと便利な情報が記載されています。
-  **注意:** ハードウェアの破損またはデータの損失の可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も示されています。
-  **警告:** 問題を回避しないと、軽～中程度のけがを負う危険性があることを示します。
-  **危険:** 問題を回避しないと、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。

本書の内容は予告なしに変更されることがあります。
© 2001年 すべての著作権はDell Computer Corporationにあります。

Dell Computer Corporationからの書面による許可なしには、いかなる方法においても本書の複写、転載を禁じます。

本書に使用されている商標: Dell、DELLのロゴ、PowerEdge、Dell OpenManage、Dimension、Inspiron、Dell Precision、Optiplex、Latitudeおよび DellWareはDell Computer Corporationの商標です。Intelは Intel Corporationの登録商標です。Microsoft、MS-DOS、Windows NT、およびWindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。NovellおよびNetWareはNovell, Inc.の登録商標です。

本書では、上記記載以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切Dellに所属するものではありません。

2001年6月

[目次ページに戻る](#)



Dell™ PowerEdge™ 500SC システム インストール&トラブルシューティング

[図2-1. ベゼルインジケータ](#)
[図2-2. 背面パネルの機能](#)
[図5-1. システムカバーの取り外し](#)
[図5-2. サポートレバーの取り外しと取り付け](#)
[図5-3. ベゼルの取り外しと取り付け](#)
[図5-4. NICインジケータ](#)
[図5-5. システムの内部](#)
[図6-1. システム基板の機能](#)
[図6-2. 冷却カバーの取り外し](#)
[図6-3. ファンを取り外し](#)
[図6-4. ファイラードライブの取り外し](#)
[図6-5. 拡張カードの取り付け](#)
[図6-6. 拡張カードの装着](#)
[図6-7. メモリモジュールソケット](#)
[図6-8. メモリモジュールの取り付け](#)
[図6-9. メモリモジュールの取り外し](#)
[図6-10. 固定クリップ](#)
[図6-11. マイクロプロセッサの取り外し](#)
[図6-12. 1番ピンの確認](#)
[図6-13. マイクロプロセッサの取り付け](#)
[図6-14. ヒートシンクの取り付け](#)
[図6-15. バッテリーの取り付け](#)
[図7-1. ドライブベイ](#)
[図7-2. 電源ケーブルの接続](#)
[図7-3. インタフェースケーブルの接続](#)
[図7-4. ドライブケースの取り外しと取り付け](#)
[図7-5. 下段の3.5インチベイへのハードドライブの取り付けと取り外し](#)
[図7-6. 上段の3.5インチベイへのハードドライブの取り付けと取り外し](#)
[図7-7. ハードドライブおよびドライブブラケットの取り外し](#)
[図7-8. ハードドライブの取り外しまたは取り付け](#)
[図7-9. ドライブブラケットの取り外し](#)
[図7-10. ドライブベイカバーの取り外し](#)
[図7-11. 5.25インチデバイスの取り付けまたは取り外し](#)
[図7-12. ディस्कドライブの取り外しと取り付け](#)
[図A-1. ジャンパ](#)
[図A-2. システム基板のジャンパ](#)

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

表

Dell™ PowerEdge™ 500SC システム インストール&トラブルシューティング

[表2-1. 起動ルーチンインジケータ](#)

[表2-2. システムメッセージ](#)

[表2-3. システムビーブコード](#)

[表3-1. IROライン割り当てデフォルト値](#)

[表4-1. オプション](#)

[表4-2. Devicesオプション](#)

[表6-1. システム基板のコネクタおよびソケット](#)

[表6-2. メモリモジュール構成の例](#)

[表A-1. システム基板ジャンパ設定](#)

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ジャンパおよびコネクタ

Dell™ PowerEdge™ 500SG システム インストール&トラブルシューティング

- [ジャンパー 概要](#)
- [システム基板のジャンパ](#)
- [パスワードを忘れたとき](#)

本章では、システム基板のジャンパについて説明します。

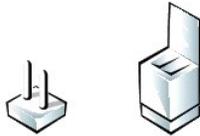
ジャンパー 概要

ジャンパを使用すれば、プリント基板の回路構成を簡単に変更できます。システムを再構成する場合、システム基板上のジャンパ設定を変更する必要がある場合があります。また、拡張カードまたはドライブ上のジャンパの設定を変更する必要がある場合があります。

ジャンパ

ジャンパは回路基板上の小さなブロックで、2本以上のピンが出ています。ワイヤを格納しているプラスチック製プラグが、ピンにかぶせられています。ワイヤは、ピン同士を接続して回路を形成します。ジャンパの設定を変更するには、ピンから抜いたプラグを、指定のピンに注意深く押し込みます。図A-1に、ジャンパの例を示します。

図A-1. ジャンパ



▲ 危険: 必ずシステムの電源を切ってから、ジャンパの設定を変更してください。電源が入ったまま変更しようとすると、システムを破損したり予期できない結果を招いたりする恐れがあります。

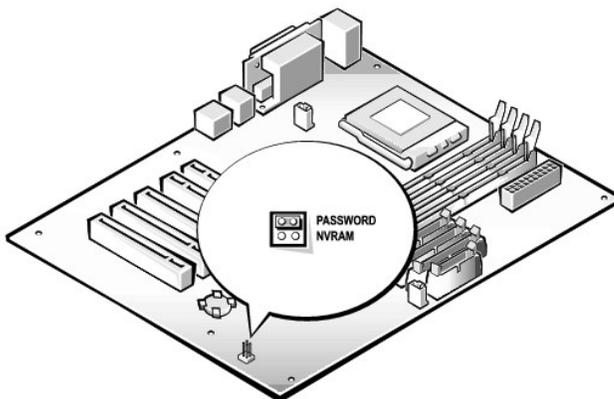
1本のピンだけにプラグがかぶせてある場合や、プラグがかぶせていない場合、ジャンパはオープン状態またはジャンパなしといえます。2本のピンにまたがってプラグがかぶせてある場合は、ジャンパありといえます。ジャンパ設定は、通常、1-2のように2つの数字で示されています。番号1は回路基板上に印刷されているので、ピン1の位置を基準にして各ピンの番号を識別できます。

図A-2には、システム基板上のジャンパブロックの位置とデフォルトの設定値を示しています。システムジャンパの宛先、デフォルト設定値、および機能については、表A-1を参照してください。

システム基板のジャンパ

図A-2には、システム基板上的設定ジャンパの位置を示します。表A-1には、それらのジャンパの機能を一覧表示します。

図A-2. システム基板のジャンパ



表A-1. システム基板ジャンパ設定

ジャンパ	設定	説明
PASSWORD	 (デフォルト)	パスワード機能が有効になっています。

		パスワード機能が無効になっています。
NVRAM		設定がシステム起動時に保持されます。
	(デフォルト) 	設定は、次のシステム起動時にクリアされます。(設定が壊れてシステムが起動しない場合は、ジャンパプラグを取り付けてシステムを再起動します。設定情報を記憶しなおす前に、ジャンパを取り外します。)
 ジャンパあり  ジャンパなし		
メモ: この表で使用されている略語の正式名称は、「 略語一覧 」を参照してください。		

パスワードを忘れたとき

システムのソフトウェアセキュリティ機能には、システムパスワードとセットアップパスワードがあります。これらのパスワードについては、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」で詳細に説明されています。システム基板にあるパスワードジャンパで、これらのパスワード機能のオン/オフ切り替えることができますので、現在どのようなパスワードが使用されていてもクリアすることができます。

忘れてしまったシステムパスワードまたはセットアップパスワードを無効にするには、以下の手順を実行します。

警告: 『システム情報ガイド』の「静電気放出への対処」を参照してください。

1. システムカバーを取り外します。
2. システム基板上のパスワードジャンパ(「PASSWORD」のラベルが貼付)については[図A-2](#)を参照してください。
3. PASSWORDジャンパからジャンパプラグを取り外します。
4. システムカバーを取り付け、システムをコンセントに接続して、電源を入れます。

既存のパスワードはPASSWORDジャンパを取り外し、システムを再起動させるまで無効(消去)になりません。しかし、新しいシステムパスワードとセットアップパスワードの両方またはどちらかを設定する前に、もう一度ジャンパプラグを取り付けなおす必要があります。

メモ: PASSWORDジャンパプラグを取り外した状態で新しいシステムパスワードまたはセットアップパスワード(またはその両方)を設定しても、次回の起動時にはその新しいパスワードは有効になりません。

5. 手順1を繰り返します。
6. PASSWORDジャンパにジャンパプラグを取り付けます。
7. システムカバーを取り付け、システムおよび周辺機器をコンセントに接続して、電源を入れます。
8. 新しいシステムパスワードとセットアップパスワードの両方またはどちらかを設定します。

セットアップユーティリティを使用して、新しいシステムパスワードを設定する場合は、『ユーザーズガイド』の「システムパスワードの設定」を参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

略語一覧

Dell® PowerEdge™ 500SG システム インストール&トラブルシューティング

次のリストでは、Dellのユーザーズガイドで使用される技術用語、略語の意味を示します。

A

ampere(アンペア)

AC

alternating current(交流)

ACPI

Advanced Configuration and Power Interface(電源管理規格の1つ)

ADC

analog-to-digital converter(アナログ-デジタルコンバータ)

BIOS

basic input/output system(基本入出力システム)

bpi

bits per inch(1インチあたりのビット数)

bps

bits per second(1秒あたりのビット数)

C

Celsius(摂氏)

CD

compact disc(コンパクトディスク記憶装置)

cm

centimeter(s)(センチメートル)

CMOS

complementary metal-oxide semiconductor(相補型金属酸化膜半導体)

C.O.D.

collect on delivery(代金引換え渡し)

CPU

central processing unit(中央処理装置)

DAT

digital audio tape(デジタルオーディオテープ)

dB

decibel(デシベル)

dBA

adjusted decibel(補正デシベル)

DC

direct current(直流)

DIMM

dual in-line memory module(デュアルインラインメモリモジュール)

DIN

Deutsche Industrie Norm (ドイツ工業品標準規格)

DMA

direct memory access (ダイレクトメモリアクセス)

DOC

Department of Communications (カナダ)

dpi

dots per inch (1インチあたりのドット数)

DRAM

dynamic random-access memory (ダイナミックランダムアクセスメモリ)

DS/DD

double-sided/double-density (両面/倍密度)

DS/HD

double-sided/high-density (両面/高密度)

ECC

error checking and correction (エラーチェックおよび訂正)

EDO

extended-data output (拡張データ出力)

EGA

enhanced graphics adapter (拡張グラフィックアダプタ)

EIDE

enhanced integrated drive electronics

EMI

electromagnetic interference (電磁波障害)

EMM

expanded memory manager (拡張メモリマネージャ)

ESD

electrostatic discharge (静電気放出)

ESM

embedded server management (組込み型サーバ管理)

F

Fahrenheit (華氏)

FAT

file allocation table (ファイル割り当てテーブル)

FCC

Federal Communications Commission (連邦通信委員会)

ft

feet (フィート)

g

gram (グラム)

G

gravities (重力)

GB

gigabyte (ギガバイト)

GUI

graphical user interface (グラフィックユーザーインターフェース)

h

hexadecimal (16進法)

Hz

hertz (ヘルツ)

I/O

input/output (入出力)

ICBM

inter-chassis management bus (シャーシ間管理バス)

ID

identification (識別)

IDE

integrated drive electronics (ハードディスクを接続するインタフェース)

IRQ

interrupt request (割り込み要求)

ISA

Industry-Standard Architecture (業界標準アーキテクチャ)

K

kilo- (キロ[1,024/バイト])

KB

kilobyte (キロバイト)

KB/sec

kilobyte(s) per second (1秒あたりのキロバイト数)

Kb

Kilobit(s) (キロビット)

Kbps

kilobyte(s) per second (1秒あたりのキロビット数)

kg

kilogram(s) (キログラム)

kHz

kilohertz (キロヘルツ)

LAN

local area network (ローカルエリアネットワーク)

lb

pound(s) (ポンド)

LED

light-emitting diode (発光ダイオード)

LIF

low insertion force (低圧力)

LN

load number (ロード番号)

lpi

lines per inch (1インチあたりの線数)

LVD

low voltage differential (低電圧差動)

m

meter(s) (メートル)

mA

milliamper (ミリアンペア)

mAh

milliamper-hour(s) (ミリアンペア/時)

MB

megabyte(s) (メガバイト)

Mb

megabit(s) (メガビット)

Mbps

megabit(s) per second (1秒あたりのメガバイト数)

MBR

master boot record (マスタブートレコード)

MDA

monochrome display adapter (白黒ディスプレイアダプタ)

MGA

monochrome graphics adapter (白黒グラフィックアダプタ)

MHz

megahertz (メガヘルツ)

mm

millimeter(s) (ミリメートル)

ms

millisecond(s) (ミリ秒)

mV

millivolt(s) (ミリボルト)

NIC

network interface card (ネットワークインタフェースカード)

NiCad

nickel cadmium (ニッケルカドミウム)

NiMH

nickel-metal hydride (ニッケル金属水素化合物)

ns

nanosecond(s) (ナノ秒)

NTFS

NT File System (NTファイルシステム)

NVRAM

nonvolatile random-access memory (不揮発性ランダムアクセスメモリ)

PCI

Peripheral Component Interconnect (周辺機器コンポーネント接続)

PDU

power distribution unit (配電ユニット)

PGA

pin grid array (ピングリッドアレイ)

POST

power-on self-test (電源投入時の自動診断)

ppm

pages per minute (1分あたりのページ数)

RAID

redundant array of inexpensive disks

RAM

random-access memory (ランダムアクセスメモリ)

RCU

Resource Configuration Utility(リソースコンフィギュレーションユーティリティ)

RFI

radio frequency interference(ラジオ周波数障害)

ROM

read-only memory (読み取り専用メモリ)

rpm

revolutions per minute (1分あたりの回転数)

RTC

real-time clock (実時刻時計)

SCSI

small computer system interface (小型コンピュータシステムインタフェース)

SDS

Scalable Disk System(スキャン可能ディスクシステム)

sec

second (秒)

SEC

single-edge contact (シングルエッジコンタクト)

SDRAM

synchronous dynamic random-access memory (同期ダイナミックランダムアクセスメモリ)

SNMP

Simple Network Management Protocol (シンプルネットワーク管理プロトコル)

SRAM

static random-access memory (スタティックランダムアクセスメモリ)

SSU

system setup utility (システムセットアップユーティリティ)

tpi

tracks per inch (1インチあたりのトラック数)

TSR

terminate-and-stay-resident (メモリ常駐)

UPS

uninterruptible power supply (無停電電源装置)

V

volt(s) (ボルト)

VAC

volt(s) alternating current (ボルト交流)

VDC

volt(s) direct current (ボルト直流)

VGA

video graphics array (ビデオグラフィックアレイ)

VRAM

video random-access memory (ビデオランダムアクセスメモリ)

W

watt(s) (ワット)

WH

watt-hour(s) (ワット時)

Z

ZIF

zero insertion force (ゼロ挿入圧力)

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

はじめに

Dell™ PowerEdge™ 500SC システム インストール&トラブルシューティング

- [その他のマニュアル](#)
- [困ったときは](#)

お使いのシステムは、各種のサービスとアップグレード機能を備えた高速サーバです。システムには、次のサービス機能が搭載されています。

- 1 組み込み型サーバ管理ハードウェアは、システム全体の温度と電圧をモニタし、システムが過熱している場合、システム冷却ファンの動作が正常でない場合、または電源装置に障害がある場合に通知します。
- 1 システム診断プログラムは、システムが起動可能な場合にハードウェアの問題をチェックします。

以下のシステムアップグレードオプションが用意されています。

- 1 拡張カードオプション
- 1 増設メモリ
- 1 マイクロプロセッサ

その他のマニュアル

お使いのシステムには、この『インストール&トラブルシューティング』以外にも以下のマニュアルが付属しています。

- 1 『ユーザーズガイド』では、システム機能、仕様、およびセットアップユーティリティについて説明しています。
- 1 サーバ管理マニュアルでは、サーバ管理ソフトウェアの機能、必要条件、インストール、および基本操作について説明しています。このソフトウェアが発行するアラートメッセージについては、ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。
- 1 『システム情報ガイド』では、安全および認可機関に関する情報、および保証に関する情報を記載しています。

また、必要に応じて次のマニュアルが付属している場合があります。

 **メモ:** システムまたはソフトウェアの変更について説明したマニュアルアップデートが、システムに同梱されていることがあります。必ず、他のマニュアルより先にこのアップデートをお読みください。他のマニュアルの内容よりも新しい情報が含まれていることがよくあります。

- 1 オペレーティングシステムのマニュアル。システムにオペレーティングシステムがプリインストールされている場合は、そのマニュアルが付属しています。オペレーティングシステムの使い方や、再インストールが必要になった場合の設定方法などが記載されています。
- 1 システムとは別に購入した各種オプションのマニュアル。ご使用のシステムに、これらのオプションを取り付け、設定するために必要な情報が記載されています。
- 1 技術情報ファイル (readmeとも呼ばれます)。システムのハードドライブには、マニュアルの印刷後にシステムに追加された変更や、技術者および専門知識をお持ちのユーザーを対象とする、テクニカルリファレンスが記載されたreadmeファイルがインストールされていることがあります。

困ったときは

本書で説明されている手順がわからない場合や、システムが思った通りに動作しない場合に備えて、各種ツールが用意されています。これらのヘルプツールの詳細については、「[困ったときは](#)」を参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

インジケータ、メッセージ、およびコード

Dell™ PowerEdge™ 500SG システム インストール&トラブルシューティング

- [起動ルーチン](#)
- [接続とスイッチのチェック](#)
- [システムメッセージ](#)
- [システムビーブコード](#)
- [警告メッセージ](#)
- [診断メッセージ](#)
- [システム管理サーバエージェントからの警告ログメッセージ](#)

アプリケーションプログラム、オペレーティングシステム、およびシステム自体には、問題を識別してユーザーに警告する機能があります。問題が発生すると、メッセージがモニタ画面上に表示されたり、ビーブ音が鳴ったりします。

システムが正しく機能していないときには、次のような方法で通知されます。

- 1 システムメッセージ
- 1 システムビーブコード
- 1 警告メッセージ
- 1 診断メッセージ
- 1 アラートメッセージ

また、本項では各タイプのメッセージを説明し、考えられる原因と、メッセージに示された問題を解決するための処置も説明しています。

初期の確認と手順を実行することで、システムに関する多くの基本的な問題を解決することができます。システムインジケータおよび背面パネルの機能を、[図2-1](#)および[図2-2](#)に示します。

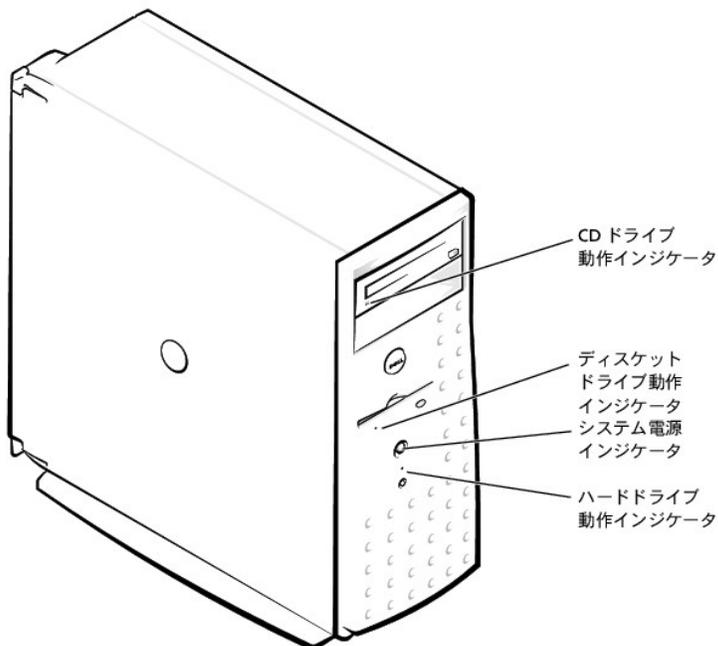
起動ルーチン

問題の発生元を判断する際には、システムを目と耳で確認することも重要です。システム起動ルーチン中の目と耳での確認事項について、[表2-1](#)に示します。

ベゼルインジケータ

ベゼルがシステムに設置されている場合、ベゼルには4つのインジケータが付いています([図2-1](#)参照)。それらはCDドライブ動作インジケータ、ディスクドライブ動作インジケータ、システム電源インジケータ、ハードドライブ動作インジケータです。

図2-1. ベゼルインジケータ



[表2-1](#)が示す項目について目と耳で確認します。

表2-1. 起動ルーチンインジケータ

目と耳での確認事項	処置
エラーメッセージ	「 システムメッセージ 」を参照してください。
システム管理サーバエージェントソフトウェアからのアラートメッセージ	「 システムメッセージ 」の「 システム管理サーバエージェントからの警告 ログメッセージ 」を参照してください。
モニタの電源インジケータ	「 システムのトラブルシューティング 」の「 ビデオサブシステムのトラブルシューティング 」を参照してください。
キーボードインジケータ	「 システムのトラブルシューティング 」の「 キーボードのトラブルシューティング 」を参照してください。
ディスクドライブ動作インジケータ	「 システムのトラブルシューティング 」の「 ディスクドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
ハードドライブ動作インジケータ	「 システムのトラブルシューティング 」の「 ハードドライブのトラブルシューティング 」を参照してください。
ビープの連続音	「 システムビープコード 」を参照してください。
ドライブにアクセスしているときに一定の間隔で聞き慣れないこするような音	「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
メモ: この表で使用されている略語の正式名については、「 略語一覧 」を参照してください。	

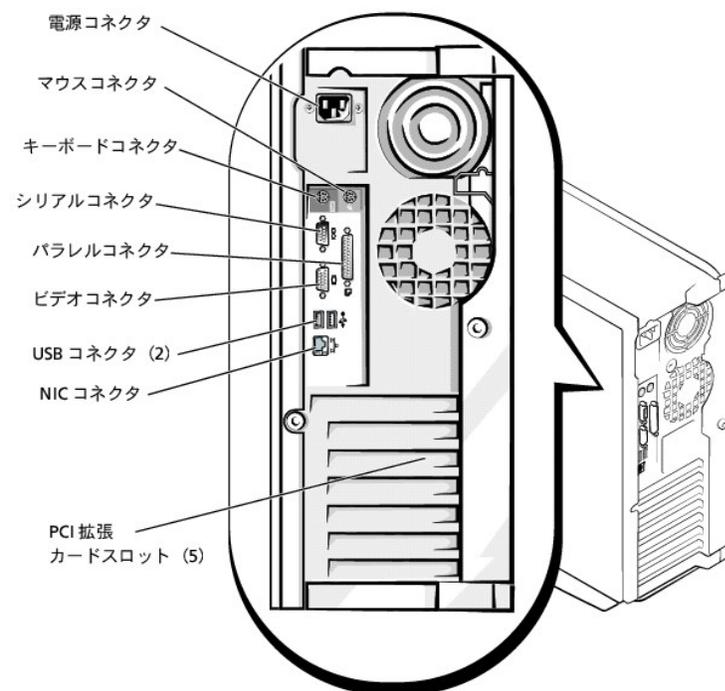
接続とスイッチのチェック

システム、モニタ、その他の周辺機器(プリンタ、キーボード、マウス、その他の外付け機器など)のほとんどの問題は、スイッチやボタンの設定ミス、およびケーブルの緩みや接続の誤りが原因で起ります。そのような問題であれば、すべてのスイッチ、ボタン、およびケーブル接続をざっとチェックするだけで容易に解決できます。背面パネルの機能およびコネクタについては[図2-2](#)を参照してください。

背面パネルの機能

[図2-2](#) は、システムの背面パネルの機能を示しています。

図2-2. 背面パネルの機能



以下の手順を完了してすべての接続部とスイッチをチェックします。

特定のシステム問題のチェック

- システムとすべての周辺機器の電源を切ります。すべての電源ケーブルをコンセントから外します。
- システムがPDUに接続されている場合は、PDUをいったんオフにして、再びオンにします。
電力が供給されてない場合は、プラグを別のコンセントに差し込みます。それでも電力が供給されてない場合は、別のPDUを試してください。
- システムを再びコンセントまたはPDUに接続します。
- モニタは正常に動作していますか？
「[ビデオサブシステムのトラブルシューティング](#)」を参照してください。
- キーボードは正常に動作していますか？

「[キーボードのトラブルシューティング](#)」を参照してください。

6. マウスおよびプリンタは正常に動作していますか？

「[基本的なI/O機能のトラブルシューティング](#)」を参照してください。

システムメッセージ

システムメッセージは、起こり得る動作上の問題またはソフトウェアとハードウェアとの矛盾を警告します。表2-2に、システムエラーメッセージと、その考えられる原因の一覧を示します。

 **メモ:** 表示されたシステムメッセージが表2-2に記載されていない場合は、メッセージが表示されたときに実行していたアプリケーションのマニュアルや、オペレーティングシステムのマニュアルを参照して、メッセージの説明と推奨される処置を確認してください。

表2-2. システムメッセージ

メッセージ	原因	対応処置
Address mark not found	ディスク、CD-ROM、またはハードドライブサブシステムが不良です(システム基板の不良)。	システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Alert! Maximum memory size exceeded. Limiting memory size to 2 GB	システムがサポートするメモリ容量は最大で2GBです。	最大のメモリ容量が2GB以下になるように対になったメモリモジュールを取り外します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。
Alert! Single-bit memory error previously detected in xxxx xxxhx	メモリモジュールが正しく取り付けられていないか、不良です。	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Alert! Previous processor thermal failure	前回の動作中に、マイクロプロセッサが推奨動作温度範囲を超えました。	欠陥のあるマイクロプロセッサを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 マイクロプロセッサの交換 」を参照してください。
Alert! Primary processor is out of rev	プライマリプロセッサが正しいバージョンでないことをシステムが検出しました。	マイクロプロセッサを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 マイクロプロセッサの交換 」を参照してください。
Alert! Processor thermal probe failure detected	プロセッサの不良、またはシステム基板の故障です。	不良なマイクロプロセッサを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 マイクロプロセッサの交換 」を参照してください。問題が解決しない場合は、システムの不良です。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Alert! Unsupported memory in DIMM slot(s)	サポートされていないメモリモジュールが特定のスロットに取り付けられています。	すべてのメモリモジュールのペアが同じタイプになるように、1つまたは複数のメモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。
Alert! Uncorrectable memory error previously detected in xxxx xxxhx	メモリモジュールが正しく取り付けられていないか不良です。	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Attachment failed to respond	ディスクドライブまたはハードドライブコントローラが、対応するドライブにデータを送信できません。	不良なドライブを交換します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Auxiliary device failure	マウスケーブルが正しく接続されていないか、接続に緩みがあります。またはマウスが不良です。	マウスケーブルの接続を確認します。「 接続とスイッチのチェック 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Bad command or file name	入力したコマンドが存在しないか不良、またはパスネームが特定できません。	コマンドおよびシンタックスの不良、またはファイル名が間違っています。
Bad error-correction code (ECC) on disk read	ディスク、CD-ROM、またはハードドライブサブシステムが不良です(システム基板の不良)。	システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Controller has failed		
Boot: Couldn't find NTLDR	Windows NTでフォーマットされた起動できないディスクが、ディスクドライブで検出されました。	起動できないディスクがシステムの起動を妨げています。ディスクを取り除いて、システムをハードドライブから起動ディスクから起動してください。
CAUTION! NVRAM_CLR jumper is installed on system board. Please run SETUP	NVRAMジャンパが取り付けられています。	NVRAMジャンパを取り外します。ジャンパの位置については、「 図A-2 」を参照してください。セットアップユーティリティを実行し、ディスクドライブのタイプを修正します。手順については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
CD-ROM drive not found	CDDライブが正しく接続されていないか、取り付けられていません。	CDDライブユニットが、周辺装置用ケージの干渉基板に対し適切に接続されていることを確認します。CDDライブの位置については、「システムのトラブルシューティング」の「 システムの内部 」を参照してください。ドライブを交換します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Data error	ディスク、ディスクドライブ、またはハードドライブが不良です。	ディスク、ディスクドライブ、またはハードドライブを交換します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。
Decreasing available memory	1つか複数のメモリモジュールが正しく接続されていないか、または不良です。	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Diskette drive 0 seek failure	ディスクが正しく挿入されていないか、不良です。セットアップユーティリティのコンフィギュレーション設定が間違っています。ディスクドライブインタフェースケーブルの接続に緩みがあります。	ディスクを交換します。セットアップユーティリティを実行し、ディスクドライブのタイプを修正します。手順については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。インタフェースケーブルおよび電源ケーブルのシステム基板への接続を確認します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。
Diskette drive 1 seek failure		
Diskette read failure	ディスクが不良です。ディスクドライブまたはその接続が不良です。	インタフェースケーブルおよび電源ケーブルのシステム基板への接続を確認します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。
Diskette subsystem reset failed	ディスクコントローラの不良です(システム基板の不良)。	システム基板を交換します。「 ドライブの取り付け 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Diskette write protected	ディスクの書き込み禁止機能が有効になっています。	ディスクの書き込み禁止設定用のタブをスライドさせます。

Drive not ready	ディスクがディスクドライブにないか、正しく挿入されていません。	ディスクを挿入しなおすか、交換します。
Gate A20 failure	キーボードコントローラの不良です(システム基板の不良)。	システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
General failure	オペレーティングシステムが壊れているか、正しくインストールされていません。	オペレーティングシステムを再インストールします。
Hard disk controller failure	セットアップユーティリティの設定が間違っています。ハードドライブが正しく接続されていません。	セットアップユーティリティで、ハードドライブの設定を確認します。手順については、『ユーザーズガイド』の「 セットアップユーティリティの使い方 」を参照してください。ハードドライブを取り付けます。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。インタフェースケーブルおよび電源ケーブルのシステム基板への接続を確認します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。
Hard disk drive read failure	ハードドライブコントローラサブシステムの不良です(システム基板の不良)。電源ケーブルの接続に緩みがあります。	
Hard disk failure		
Invalid configuration information - please run SETUP program	セットアップユーティリティでの設定が間違っているか、バッテリーが不良であるか、NVRAMジャンパが取り付けられています。	セットアップユーティリティの設定を確認します。手順については、『ユーザーズガイド』の「 セットアップユーティリティの使い方 」を参照してください。バッテリーを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 システムバッテリーの取り付け 」を参照してください。NVRAMジャンパを取り外します。ジャンパの位置については、「 図A-2 」を参照してください。
Invalid CPU speed detected	マイクロプロセッサがシステムによってサポートされていません。	特定のマイクロプロセッサコネクタに、正しいバージョンのマイクロプロセッサを取り付けます。「システム基板オプションの取り付け」の「 マイクロプロセッサの交換 」を参照してください。
Invalid NVRAM configuration, resource reallocated	セットアップユーティリティを使って、システムリソースの割り当てをおこなうと、システムはリソースコンフリクトを検出し解決します。	対処する必要はありません。
I/O parity interrupt at address	拡張カードに問題があるか、正しく取り付けられていません。	拡張カードを取り付けます。「システム基板オプションの取り付け」の「 拡張カードの取り付け 」を参照してください。問題が解決しない場合は、拡張カードを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 拡張カードの取り外し 」を参照してください。
Keyboard failure	キーボードケーブルが正しく接続されていないか、接続に緩みがあります。キーボードの不良です。	キーボードケーブルの接続を確認します。キーボードを交換します。問題が解決しない場合は、システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Keyboard data line failure	キーボード/マウスコントローラの不良です(システム基板の不良)。	
Keyboard stuck key failure		
Keyboard clock line failure		
Keyboard controller failure	キーボード/マウスコントローラの不良です(システム基板の不良)。	システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Memory address line failure at address, read value expecting value	メモリモジュールがきちんと装着されていないか、不良もしくはシステム基板の故障です。	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Memory data line failure at address, read value expecting value		
Memory double word logic failure at address, read value expecting value		
Memory odd/even logic failure at address, read value expecting value		
Memory write/read failure at address, read value expecting value		
Memory allocation error	アプリケーションプログラムに問題があります。	アプリケーションプログラムを再起動します。
Memory parity interrupt at address	メモリモジュールが正しく取り付けられていないか不良です。	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Memory tests terminated by keystroke	スペースキーを押したために、POSTメモリテストが終了しました。	対処する必要はありません。
No boot device available	ディスク、ディスクサブシステム、ハードドライブ、またはハードドライブサブシステムの不良です。または、ドライブAにブートディスクがありません。	ディスクまたはハードドライブを交換します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。それでも問題が解決しない場合は、システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
No boot sector on hard drive	セットアップユーティリティの設定が正しくありません。ハードドライブにオペレーティングシステムが、インストールされていません。	セットアップユーティリティで、ハードドライブの設定を確認します。手順については、『ユーザーズガイド』の「 セットアップユーティリティの使い方 」を参照してください。
No timer tick interrupt	システム基板に欠陥があります。	システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Non-system disk or disk error	ディスク、ディスクサブシステム、またはハードドライブサブシステムが不良です。	ディスクまたはハードドライブを交換します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。それでも問題が解決しない場合は、システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Not a boot diskette	ディスクにオペレーティングシステムが含まれていません。	起動ディスクを使用してください。
Read fault	ディスク、ディスクサブシステム、またはハードドライブサブシステムが不良です(システム基板の不良)。	ディスクまたはハードドライブを交換します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。それでも問題が解決しない場合は、システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Requested sector not found		
Reset failed	ディスクドライブ、CDDライブ、ハードドライブ、または電源ケーブルが、正しく接続されていません。	インタフェースケーブルおよび電源ケーブルのディスクドライブ、CDDライブ、またはハードドライブへの接続を確認します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。ハードドライブを取り付けなおします。インタフェースケーブルおよび電源ケーブルのシステム基板への接続を確認します。「 困ったときは 」を参照してください。
ROM bad checksum = address	拡張カードに問題があるか、正しく取り付けられていません。	拡張カードを取り付けます。「システム基板オプションの取り付け」の「 拡張カードの取り付け 」を参照してください。問題が解決しない場合は、拡張カードを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 拡張カードの取り外し 」を参照してください。問題が解決しない場合は、システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

Sector not found	ディスクまたはハードドライブのセクタに欠陥があります。	ディスクまたはハードドライブを交換します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。
Seek error	ディスクまたはハードドライブのセクタに欠陥があります。	ディスクまたはハードドライブを交換します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。
Seek operation failed	ディスクまたはハードドライブの不良です。	ディスクまたはハードドライブを交換します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。
Shutdown failure	システム基板に欠陥があります。	システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
System halted	システムマイクロプロセッサがサポートされていません。	サポートされているマイクロプロセッサと交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 マイクロプロセッサの交換 」を参照してください。
Time-of-day clock stopped	バッテリーまたはチップの不良です(システム基板の不良)。	システムバッテリーを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 システムバッテリーの取り付け 」を参照してください。問題が解決しない場合は、システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Time-of-day not set - please run SETUP program	TimeまたはDateが正しく設定されていないか、システムバッテリーに欠陥があります。あるいはNVRAMジャンパが取り付けられています。	TimeまたはDateの設定を確認します。手順については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。問題が解決しない場合、システムバッテリーを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 システムバッテリーの取り付け 」を参照してください。問題が解決しない場合は、システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。NVRAMジャンパを取り外します。ジャンパの位置については、「 図A-2 」を参照してください。
Timer chip counter 2 failed	システム基板に欠陥があります。	システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Unexpected interrupt in protected mode	メモリモジュールの取り付け不良、またはキーボード/マウスコントローラのコントローラチップの不良です(システム基板の不良)。	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
Unsupported CPU speed in CMOS	マイクロプロセッサがBIOSによってサポートされていません。	BIOSをアップグレードします。手順については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
Utility partition not available	POST中に<F10>が押されましたが、起動ハードドライブにユーティリティパーティションが存在しませんでした。	起動ハードドライブにユーティリティパーティションを作成します。『ユーザーズガイド』の「Dell OpenManage Server Assistant CDの使い方」を参照してください。
Write fault	ディスクまたはハードドライブの不良です。	ディスクまたはハードドライブを交換します。「 ドライブの取り付け 」を参照してください。
Write fault on selected drive		

メモ: この表で使用されている略語の正式名称は、「[略語一覧](#)」を参照してください。

システムビープコード

起動ルーチン実行時に、モニタ上で報告できないエラーが発生すると、システムは問題を示す連続ビープを出す場合があります。

メモ: システムにキーボード、マウス、またはモニタを取り付けずに起動すると、システムはこれらの周辺機器に関連したビープ音を発しません。

ビープコードが表示されたら、「[困ったときは](#)」の診断チェックリストに記入し、[表2-3](#)と比較してください。ビープコードの意味を調べても問題を解決できない場合、システム診断プログラムを実行し原因を調べてください。それでも問題を解決できない場合は、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

表2-3. システムビープコード

コード	原因	対応処置
1-1-3	CMOSの読み取り/書き込み障害	システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
1-1-4	BIOSチェックサム障害	重大なエラーで、通常はBIOSファームウェアの取り替えが必要です。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
1-2-1	プログラマブルインターバルタイマーの不良	システム基板を交換します。「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
1-2-2	DMAの初期化障害	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。
1-2-3	DMAページレジスタの書き込み/読み取り障害	問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
1-3-1	メインメモリリフレッシュ検証を行えません。	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
1-3-2	メモリが取り付けられていません。	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
1-3-3	メインメモリの最初の64KBでのチップまたはデータライン障害	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
1-3-4	メインメモリの最初の64KBでの奇数/偶数論理障害	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「 メモリの追加 」を参照してください。問題が解決しない場合、「 困ったときは 」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
1-4-	メインメモリの最初の64KBでのアドレスライン障害	
1-4-2	メインメモリの最初の64KBでのパリティ障害	
2-1-1	メインメモリの最初の64KBでのビット障害	
2-4-4		

3-1-1	スレーブDMAレジスタ障害	システム基板を交換します。「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
3-1-2	マスターDMAレジスタ障害	
3-1-3	マスターインタラプトマスクレジスタ障害	
3-1-4	スレーブインタラプトマスクレジスタ障害	
3-2-4	キーボードコントローラテスト障害	キーボードケーブルおよびコネクタが正しく接続されているか確認します。問題が解決しない場合は、システム診断プログラムのキーボードテストを実行して、キーボードが原因なのか、キーボードコントローラが原因なのかを判断します。「システム診断プログラムの実行」を参照してください。キーボードコントローラが不良の場合、システム基板を交換します。「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
3-3-1	CMOS障害	システム診断プログラムのシステム基板のテストを実行して、問題を個別化します。「システム診断プログラムの実行」を参照してください。
3-3-2	システム設定検査を行えません。	システム基板を交換します。「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
3-3-3	キーボードコントローラが検出されません。	システム基板を交換します。「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
3-3-4	スクリーンの初期化障害	システム診断プログラムのビデオテストを実行します。「システム診断プログラムの実行」を参照してください。
3-4-2	画面リトレーステスト障害	
3-4-3	ビデオROMの検索に失敗しました。	
4-2-1	タイマーが時間を計りません。	システム基板を交換します。「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
4-2-2	シャットダウン障害	
4-2-3	ゲートA20の障害	
4-2-4	保護モードで、予期しない割り込みが繰り返されました。	すべての拡張カードが正しく装着されているか確認してから、システムを再起動します。
4-3-1	メモリモジュールが正しく取り付けられていないか不良です。	メモリモジュールを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「メモリの追加」を参照してください。問題が解決しない場合、メモリモジュールを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「メモリの追加」を参照してください。問題が解決しない場合、「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
4-3-3	システム基板が不良です。	システム基板を交換します。「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
4-3-4	時刻機構が停止しました。	バッテリーを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「システムバッテリーの取り付け」を参照してください。問題が解決しない場合は、システム基板を交換します。「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
4-4-1	I/Oチップ障害(システム基板の不良)	システム基板を交換します。「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
4-4-2	パラレルポートテスト障害(システム基板の不良)	システム基板を交換します。「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
4-4-3	数値演算コプロセッサの障害(マイクロプロセッサの不良)	指定されたマイクロプロセッサを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「マイクロプロセッサのアップグレード」を参照してください。問題が解決しない場合は、マイクロプロセッサを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「マイクロプロセッサのアップグレード」を参照してください。問題が解決しない場合、「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
4-4-4	キャッシュテスト障害(マイクロプロセッサの不良)	指定されたマイクロプロセッサを取り外して、装着しなおします。「システム基板オプションの取り付け」の「マイクロプロセッサのアップグレード」を参照してください。問題が解決しない場合は、マイクロプロセッサを交換します。「システム基板オプションの取り付け」の「マイクロプロセッサの交換」を参照してください。問題が解決しない場合、「困ったときは」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。
メモ: この表で使用されている略語の正式名称は、「略語一覧」を参照してください。		

警告メッセージ

警告メッセージは、起こり得る問題を警告し、作業を続行する前に対応策をとるように求めます。たとえば、ディスクをフォーマットする前に、データを誤って消去または上書きしないように、ディスク上のすべてのデータを失う可能性があることをメッセージで警告します。これらの警告メッセージは、通常、作業を中断させ、y(はい)またはn(いいえ)を入力して応答することを要求します。

 **メモ:** 警告メッセージは、アプリケーションプログラムまたはオペレーティングシステムによって生成されます。警告メッセージの詳細については、「ソフトウェアの問題解決」、およびオペレーティングシステムとアプリケーションプログラムに付属のマニュアルを参照してください。

診断メッセージ

システム診断プログラムのテストグループまたはサブテストを実行すると、エラーメッセージが表示されることがあります。これらのエラーメッセージは、本項に記載されていません。診断チェックリスト(「困ったときは」参照)のコピーにメッセージを記録してから、その項を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

システム管理サーブエージェントからの警告ログメッセージ

オプションのシステム管理ソフトウェアは、システムのアラートメッセージを生成します。たとえば、サーブエージェントはSNMPトラップログファイルに表示されるメッセージを生成します。アラートメッセージには、ドライブ、温度、ファン、および電源の状態の情報、状態、警告、および障害メッセージが含まれます。アラートメッセージについての詳細は、システムに付属の『オンラインマニュアルCD』にあるシステム管理ソフトウェアのマニュアルに記載されています。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ソフトウェアの問題解決

Dell™ PowerEdge™ 500SG システム インストール&トラブルシューティング

- [ソフトウェアのインストールと設定](#)
- [ソフトウェアの使い方](#)

システムには、一般にオペレーティングシステムの他に複数のアプリケーションプログラムがインストールされているため、ソフトウェアに起因する問題は簡単には特定できない場合があります。またソフトウェアのエラーは、ハードウェアの誤動作のように見えることもあります。

ソフトウェアの問題は、次のような原因で発生します。

- 1 アプリケーションプログラムのインストールミス、または設定ミス
- 1 入力エラー
- 1 ある種のアプリケーションプログラムとコンフリクトするデバイスドライバ
- 1 デバイス間の割り込みコンフリクト

システム診断プログラムを実行することによって、システムの問題がソフトウェアに起因していることをチェックすることができます。「[システム診断プログラムの実行](#)」を参照してください。すべてのテストグループのテストが問題無く完了した場合は、問題はソフトウェアが原因である可能性が高いと考えられます。

本章では、ソフトウェアの問題を解析するためのいくつかの一般的なガイドラインを示します。特定のアプリケーションプログラムに関するトラブルシューティングの詳細は、ソフトウェアに付属のマニュアルを参照するか、ソフトウェアのサポートサービスにご相談ください。

ソフトウェアのインストールと設定

アプリケーションプログラムを新たに入手したときは、システムのハードドライブにインストールする前に、ウィルススキャンソフトウェアを使用してファイルがウィルスに感染していないかどうかをチェックしてください。ウィルスは、使用可能なシステムメモリを急速に使い尽くしたり、ハードドライブ上のデータを破損/破壊したり、感染したアプリケーションプログラムの処理に悪影響をおよぼしたりします。数種類のウィルス検出プログラムが市販されています。

ソフトウェアをインストールする前に、付属のマニュアルをよく読み、アプリケーションプログラムの仕組み、必要なハードウェア、各種項目のデフォルト設定(工場出荷時設定)などを必ず確認してください。一般にアプリケーションプログラムには、インストール手順が記載されたマニュアルとソフトウェアインストーラルーチンが付属しています。

インストール用ソフトウェアは、必要なアプリケーションプログラムファイルをシステムのハードドライブにコピーする手助けをします。インストール手順には、アプリケーションプログラムが正常に実行するようにオペレーティングシステムを設定する方法が詳しく記載されています。アプリケーションプログラムのインストールを始める前に、必ずインストール手順の説明を読んでください。

インストールルーチンを実行する時には、オペレーティングシステムの設定、使用しているシステムの種類、システムに接続されている周辺機器について、情報を入力するように求められるので、答えられるように準備しておいてください。

ソフトウェアの使い方

以下の項では、ソフトウェアの操作または設定の結果として発生する可能性のあるエラーについて説明します。

エラーメッセージ

エラーメッセージは、アプリケーションプログラム、オペレーティングシステム、またはシステムによって生成される可能性があります。システムによって生成されるエラーメッセージについては、「[インジケータ、メッセージ、およびコード](#)」で詳しく説明しています。「[インジケータ、メッセージ、およびコード](#)」の一覧にないメッセージが表示されたら、オペレーティングシステムまたはアプリケーションプログラムのマニュアルをチェックしてください。

入力エラー

誤ったときに特定のキーまたはキーの組み合わせが押されると、アプリケーションプログラムが予期せぬ動作をすることがあります。文字や値を入力するときは、アプリケーションプログラムに付属のマニュアルを参照して、正しく入力して下さい。

使用するアプリケーションプログラムをインストールするための操作環境を用意しておく必要があります。システムの操作環境のパラメータを変更するときには、アプリケーションプログラムの動作を左右する可能性があるということを忘れてください。操作環境の変更後、正常に動作しなくなったアプリケーションプログラムをインストールし直さなければならない場合もあります。

アプリケーションプログラムのコンフリクト

アプリケーションプログラムの中には、そのプログラムを終了した後も設定情報の一部を残したままのものがあります。その結果、別のアプリケーションプログラムが実行できなくなることがあります。システムを再起動すると、このようなアプリケーションプログラムが問題の原因であるかどうか確認できます。

特定のサブルーチンを使用するアプリケーションプログラムであるデバイスドライバによって、システムに問題が発生する場合があります。たとえば、モニタへのデータ転送方式が一般でない場合は、特定のビデオモードやモニタ用のドライバアプリケーションプログラムが必要になることがあります。このような場合には、そのドライバアプリケーションプログラム専用の起動ファイルを作成するなどして、アプリケーションプログラムの実行方法を特別に用意しなければならないこともあります。詳しくはソフトウェアの開発元までお問い合わせください。

割り込み要求コンフリクトの回避策

2つのデバイスが同じIRQラインを使用しようとすると、問題が起きます。このようなコンフリクトを回避するために、取り付けられている各拡張カードのマニュアルでIRQラインのデフォルト値を確認します。それから[表3-1](#)を参照して使用可能なIRQライン用のカードを設定してください。

表3-1. IRQライン割り当てデフォルト値

IRQライン	使用先/使用可能
--------	----------

IRQ0	システムタイマが使用
IRQ1	キーボードコントローラが使用
IRQ2	IRQ8~IRQ15を使用可能にするために割り込みコントローラ1が使用
IRQ3	使用可能
IRQ4	シリアルポート1が使用 (COM1 — COM4)
IRQ5	使用可能 (USBポートが使用していない場合)
IRQ6	ディスクドライブコントローラが使用
IRQ7	プライマリパラレルポートが使用
IRQ8	リアルタイムクロックが使用
IRQ9	ACPI 機能用に予約済み
IRQ10	使用可能
IRQ11	使用可能
IRQ12	PS/2マウスポートが使用 (セットアップユーティリティでマウスの設定が有効になっている場合)
IRQ13	数値演算コプロセッサが使用
IRQ14	プライマリIDEコントローラ (IDE 1)
IRQ15	セカンダリIDEコントローラ (IDE 2)

※: この表で使用されている略語の正式名については、「略語一覧」を参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

システム診断プログラムの実行

Dell™ PowerEdge™ 500SG システム インストール&トラブルシューティング

- [システム診断プログラムの機能](#)
- [システム診断プログラムが必要な場合](#)
- [システム診断プログラムの起動](#)
- [システム診断プログラムの使い方](#)
- [Device Groupsメニューの使い方](#)
- [Device Groupsメニューのオプション](#)
- [エラーメッセージ](#)

システムに付属のシステム診断プログラムを使用すると、テストのための専用装置を使用したり、データを破壊したりすることなく、システムのハードウェアのチェックを行うことができます。診断プログラムを使用することによって、システムの動作の信頼性が向上します。診断テストの結果は、ご自身で解決できない問題について、テクニカルサポートにご連絡いただく際に大変重要な情報となります。

- **注意:** システム診断プログラムは、お使いのシステム専用です。他のシステムでこのプログラムを使用すると、システムが間違った反応を示したり、エラーメッセージが表示されたりすることがあります。

システム診断プログラムの機能

システム診断プログラムは、一連のテストメニューとオプションから構成されており、そこからさらに特定のデバイスグループやデバイスを選択できるようになっています。テストの実行順序を指定することもできます。また、診断プログラムメニューには、以下の便利な機能もあります。

- 1 テストを個別にまたはまとめて実行できるオプション
- 1 テストを繰り返す回数を選択できるオプション
- 1 テスト結果を表示および印刷する機能、またはファイルに保存する機能
- 1 エラーが検出された場合にテストを一時的に中断するオプション、または最大エラー数に達したときにテストを終了するオプション(最大エラー数は変更可能)
- 1 各テストとそのパラメータを簡潔に説明するヘルプメッセージ
- 1 デバイスグループまたはデバイステストが正常に完了したかどうかを示すステータスメッセージ
- 1 問題が検出された場合に表示されるエラーメッセージ

システム診断プログラムが必要な場合

システム内の主要なコンポーネントまたはデバイスが正しく機能していない場合は、コンポーネントが故障している可能性があります。システムのマイクロプロセッサと入力コンポーネント(モニタ、キーボード、およびディスクドライブ)が動作していれば、システム診断プログラムを使用することができます。どのコンポーネントをテストする必要があるかがわかっている場合、該当するデバイスグループまたはサブテストだけを選択してください。問題の対象範囲が不確かな場合、以下をお読みください。

システム診断プログラムの起動

システム診断プログラムは、ハードドライブのユーティリティパーティションから、または『Dell OpenManage Server Assistant CD』から作成したディスクから実行できます。

ユーティリティパーティションから診断プログラムを実行するには、以下の手順をおこないます。

1. POST(電源投入時の自己診断)が行われている間に、<F10>を押してユーティリティパーティションを起動します。
2. ユーティリティパーティションのメインメニューで、Run System UtilitiesからRun System Diagnosticsオプションを選択します。

ユーティリティパーティションについての詳細は、『ユーザーズガイド』の『Dell OpenManage Server Assistant CDの使い方』の「ユーティリティパーティション」を参照してください。

ディスクからシステム診断プログラムを実行するには、以下の手順を実行します。

1. 『Dell OpenManage Server Assistant CD』を使って、診断用ディスクを作成します。
診断ディスクの作成手順については、『ユーザーズガイド』の『Dell OpenManage Server Assistant CDの使い方』を参照してください。
2. 診断用ディスクからシステムを起動します。

システムを起動できない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

診断プログラムを起動すると、診断プログラムのロード中であることを知らせるメッセージが表示されます。Diagnosticsメニューが表示されます。このメニューを使用して、すべてのまたは特定のシステム診断テストを実行したり、あるいはシステム診断プログラムを終了することができます。

- **メモ:** 実際にシステム診断プログラムを起動し、システム診断プログラムの内容を画面上で確認しながら以下の説明を読んでください。

システムを短時間で検査するには、Test All Devicesを選択してからQuick Testsを選択します。このオプションは、応答が必要なく、短時間で実行できるデバイステストのみが実行されます。初めにこのオプションを選択して、問題の発生源を手早く絞り込むようにするとよいでしょう。システムを完全に検査するには、Test All Devicesを選択してからExtended Testsを選択します。システムの特定の領域を検査するには、Advanced Testingを選択します。

診断プログラムを終了して、MS-DOS®オペレーティングシステムの環境に戻るにはExit to MS-DOSを選択します。

Diagnosticsメニューからオプションを選択するには、そのオプションを強調表示させて<Enter>を押すか、または選択するオプションの強調表示されている文字に対応するキーを押します。

システム診断プログラムの使い方

DiagnosticsメニューからAdvanced Testingを選択すると、診断プログラムのメイン画面が表示されます。

診断プログラムのメイン画面では、次の情報が表示されます。

- 1 画面の一番上の2行には、診断プログラムの名前とバージョン番号が表示されます。
- 1 画面の左側で、Run TestsサブメニューのAllを選択すると、Device Groups領域に診断テストグループが実行順に表示されます。または上下矢印キーを押してテストデバイスグループをハイライト表示します。
- 1 画面の右側は、Devices for Highlighted Group領域になっており、個別のテストグループ内の特定のデバイスが一覧表示されます。
- 1 画面の最下部の2行は、メニュー領域になっています。1行目には、選択できる項目が表示されます。左右矢印キーを押してメニュー項目をハイライト表示します。2行目には、現在ハイライト表示されている項目に関する情報が表示されます。

Device Groupsメニューの使い方

画面最下部のDevice Groupsメニューは、診断プログラムのメイン画面から特定の診断テストを選択して実行するためのオプションを提供します。メニューのオプションを選択するには、左右矢印キーを使います。別のメニューオプションに移動すると、ハイライト表示されているオプションの簡単な説明が画面の一番下の行に表示されます。

デバイスグループまたはデバイスについての詳細情報を表示する場合、Help オプションをハイライト表示し、<Enter>を押します。情報を読んだら、<Esc>を押して前の画面に戻ります。

Device Groupsメニューのオプション

診断プログラムのメニュー画面の最下部に、Run Tests、Devices、Select、Config、Helpという5つのオプションが一覧表示されます。

メニューオプションは、次の2通りの方法で選択できます。

- 1 画面を見て、オプション名で大文字になっている文字を入力します(たとえば、Runオプションを選択するには、rを入力します)。
- 1 左右矢印キーを押して、選択したいオプションにハイライト表示を移してから、<Enter>を押します。

オプションのいずれかが選択されていると、追加選択ができるようになります。

次項では、Device Groupsメニューの左から右に一覧表示されているメニューオプションについて説明します。

Run Tests

Run Testsには7つのオプションがあります。One、All、Select、Options、Results、Errors、および Helpです。Oneを選択すると、ハイライト表示されたデバイスグループ内のすべてのデバイスが実行されます。Allを選択すると、すべてのデバイスグループテスト内のすべてのテストが実行されます。(デバイステストグループは、一覧表示された順番で実行されます。) Selectを選択すると、選択されたデバイスグループ、またはデバイスグループ内で選択したデバイスのみが実行されます。デバイスグループまたはデバイスをテストする前に、Options内のグローバルパラメータを設定することを考慮してください。表4-1には、各オプションの可能なすべての値を一覧表示します。グローバルパラメータを使うと、デバイスグループテストまたはデバイステストがどのように実行されるか、およびテスト結果がどのように報告されるかを制御することができます。Helpは、Menu、Keys、Device Group、Device、Test、およびVersionsを含む、一連のヘルプオプションを表示します。

表4-1. オプション

オプション	可能な値
Number of Times to Repeat Test(s)(テストを繰り返す回数)	0001 ~ 9999 または0000。0000は<Ctrl><Break>が押されるまで無限に繰り返します。デフォルトは1です。
Maximum Errors Allowed(最大エラー許容値)	0000 ~ 9999。0000は、エラーリミットがないことを意味します。デフォルトは1です。
Pause for User Response(ユーザー応答のための中断)	Yes、No テストがユーザー入力を待つかどうかを決定することができます。 デフォルトは、ユーザー入力を待つYesです。
Message Logging(メッセージロギング)	None、Errors、All テスト結果をファイルに保存するかどうかを指定します。デフォルトはNoneです。
Message Logging File Name(メッセージロギングファイル名)	Message Loggingオプションが選択されている場合に、ログファイルの名前を指定します。デフォルトはA: RESULTです。
Display Detailed Messages(詳細メッセージの表示)	Yes、No 詳細メッセージを有効または無効にします。

Devices

デバイスグループの大半は、複数のデバイスで構成されています。デバイスグループ内のデバイスを個々に選択するには、Devicesオプションを使用します。

Devicesを選択した場合は、次のオプションが表示されます。Run Tests、Tests、Select、Parameters、およびHelpという5つのオプションを表示します。表4-2には、各オプションの可能なすべての値を一覧表示します。

表4-2. Devicesオプション

オプション	機能
Run Tests	5つのオプションを表示します: One, All, Select, Options, Results, Errors, および Helpです。
Tests	必要に応じてテストプロセスをカスタマイズするためにデバイスを個々に選択できるようになります。一覧から1つまたは複数のデバイスを選択することができます。Testsを選択すると、Run Tests, Select, Parameters, Helpという4つのオプションが表示されます。
Select	個々のデバイスグループから1つまたは複数のデバイスを選択できるようになります。3つのオプションが表示されます: One, All, Helpです。
Parameters	指定したテストがどのように実行されるか決定します。
Help	ヘルプピックを一覧表示します。

Select

Device GroupsメニューのSelectオプションを使用すると、特定のデバイスグループから1つまたは複数のデバイスを選択できます。3つのオプションが表示されます。One, All, Helpです。

Config

Device GroupsメニューのConfigを選択すると、ハイライト表示されているデバイスについての情報が表示されます。

エラーメッセージ

診断プログラムのテストを実行すると、エラーメッセージが表示されることがあります。診断チェックリストのコピーにメッセージを記入し、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。その際、表示されたメッセージをお伝えください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

システムのトラブルシューティング

Dell™ PowerEdge™ 500SG システム インストール&トラブルシューティング

- [作業にあたっての注意](#)
- [システムカバーおよびサポートレバーの取り外しと取り付け](#)
- [ベゼルの取り外しと取り付け](#)
- [周辺機器のチェック](#)
- [システムの内部](#)
- [システム管理サーバエージェントメッセージへの応答](#)
- [システムが濡れた場合のトラブルシューティング](#)
- [システムが損傷した場合のトラブルシューティング](#)
- [システムバッテリーのトラブルシューティング](#)
- [電源装置のトラブルシューティング](#)
- [冷却ファンのトラブルシューティング](#)
- [拡張カードのトラブルシューティング](#)
- [システムメモリのトラブルシューティング](#)
- [ビデオサブシステムのトラブルシューティング](#)
- [システム基板のトラブルシューティング](#)
- [ディスクドライブのトラブルシューティング](#)
- [CDおよびDVDドライブのトラブルシューティング](#)
- [ハードドライブのトラブルシューティング](#)

システムの動作に問題がある場合には、本章に示してある手順に従ってトラブルシューティングを行ってください。本章では、基本的なシステム問題を解決するための最初に行う確認と手順について説明すると共に、システム内部のコンポーネントのトラブルシューティング手順を提供します。本章の手順をはじめる前に、次の手順を実行してください。

- 1 システムを横置きにします。
- 1 『システム情報ガイド』の「安全上の注意」をお読みください。
- 1 診断プログラムの実行に関しては、「[システム診断プログラムの実行](#)」をお読みください。

作業にあたっての注意

本書の手順では、カバーを取り外してシステム内部の作業を行う必要があります。システム内部の作業を行う場合は、本書またはシステムマニュアルで説明されている以外のシステムの保守をおこなわないでください。常に手順を厳密に守ってください。『システム情報ガイド』の「安全上の注意」のすべての手順を必ず検証してください。

以下の注意を守れば、システム内部の作業は安全です。

警告： カバーを開ける必要のある手順を実行する前には、『システム情報ガイド』の安全上の注意の「静電気放出への対処」を参照してください。

システムカバーおよびサポートレバーの取り外しと取り付け

システムは、ベゼルとカバーで囲われています。システムのアップグレードまたはトラブルシューティングを行うには、システムカバーとサポートレバーを取り外し、内部コンポーネントにアクセスできるようにします。

メモ： 本章の手順をはじめる前に、「[作業にあたっての注意](#)」の安全に関する注意をお読みください。

注意： システム基板への損傷を避けるため、システムカバーを取り外す前に電源ケーブルをコンセントおよびシステム背面から取り外し、電源ボタンを押してください。システムの電源を切っても、システムがコンセントに接続されていると、システム基板には少量の電流が供給され続けます。

システムカバーおよびサポートレバーの取り外し

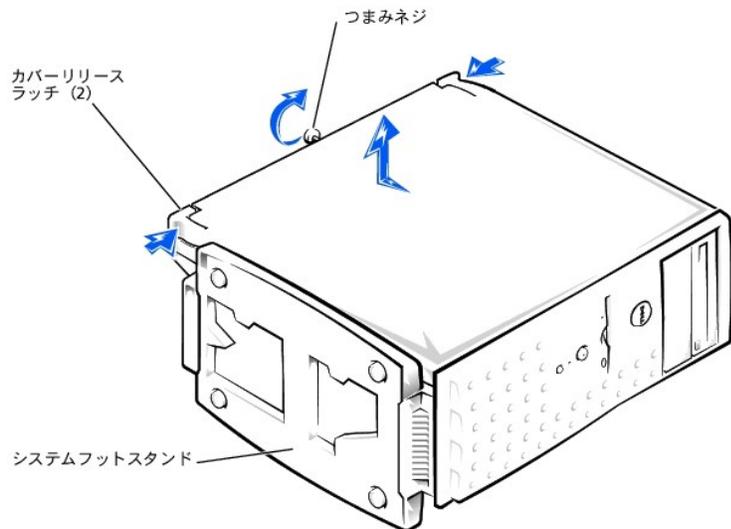
- 1 システムのスタンドが作業台の端から出ている状態で、右側面を下にしてシステムを置きます。
- 2 カバーをシステム背面に固定しているつまみネジを緩めます。

警告： カバーを後方へスライドする際は、けがを避けるためシステムの金属製のエッジには触れないでください。

- 3 システムの正面を手前にします。親指を使って両方のラッチを押しながら、カバーを後方へ押しします。カバーを後方へ少し動かし、真っ直ぐに持ち上げます ([図5-1](#)参照)。

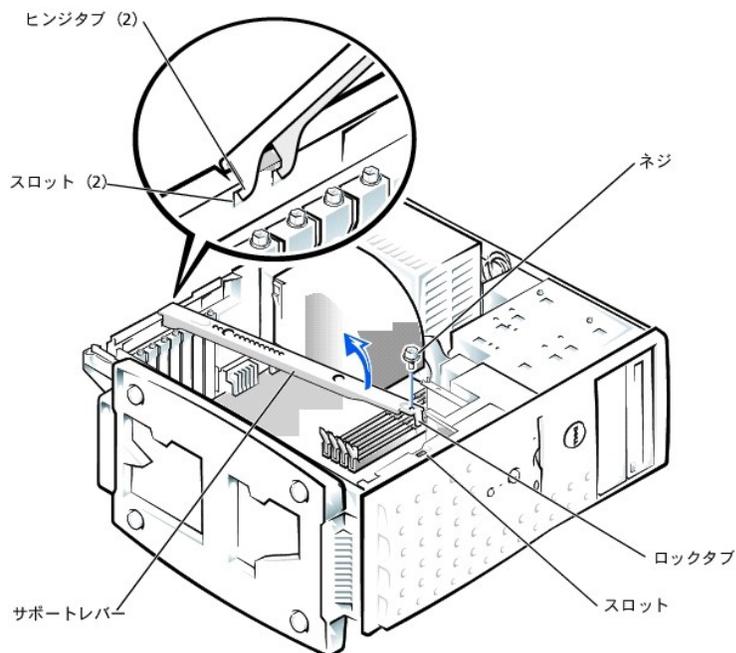
必要があれば、両手を使って片側ずつ作業します。

図5-1. システムカバーの取り外し



4. [図5-2](#)に示すように、サポートレバーからネジを取り外します。
5. サポートレバーがカチッと鳴って留め具から外れるまで、サポートレバーの前端を引き上げます。レバー後部のヒンジタブがスロットから外れるまで、レバーを上方へ動かします ([図5-2](#)参照)。

図5-2. サポートレバーの取り外しと取り付け



システムカバーおよびサポートレバーの取り付け

1. システム内部に工具や部品が残っていないか確認します。
2. サポートレバーのヒンジタブをスロットに差し込み、ロックタブが保持スロットにカチッと収まるまでレバーを下ろします ([図5-2](#)参照)。
3. 「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」の手順4で取り外したネジを取り付けます。
4. シャーシ側面にかぶさるようにカバーを取り付け、所定の位置にロックされるまで前方へスライドします。
5. つまみネジでカバーを固定します。

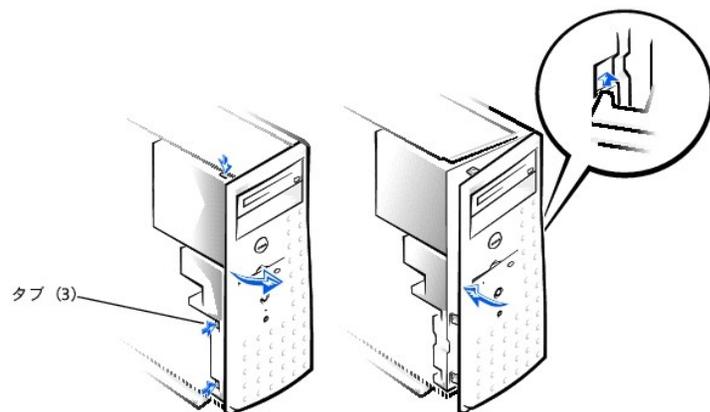
ベゼルの取り外しと取り付け

前面ベゼルには、ステータスおよびアテンションインジケータがあります。ベゼルを取り外すには、システムカバーを取り外す必要があります。

ベゼルの取り外し

1. システムカバーを取り外します(「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」参照)。
2. ベゼル側面の3つのタブを押します(図5-3参照)。
3. ベゼルの右端を軸にして回しながらフックから外し、慎重にベゼルをシステムから取り外します。

図5-3. ベゼルの取り外しと取り付け



ベゼルの取り付け

ベゼルのフックをシステムスロットに挿入し、ベゼルをシステムにカチッと押し込みます(図5-3参照)。

周辺機器のチェック

この項では、システムのI/Oパネルに直接接続する周辺機器(モニタ、キーボード、マウスなど)のトラブルシューティング手順について説明します。いずれかの手順を実行する前に、「インジケータ、メッセージ、およびコード」の「[接続とスイッチのチェック](#)」を参照してください。

ビデオサブシステムのトラブルシューティング

問題

1. モニタ
1. モニタのインタフェースケーブル
1. ビデオメモリ
1. ビデオロジック

処置

1. システムおよび電源のモニタへの接続を確認します。
2. システム診断プログラムのビデオテストを実行します。
テストが正常に実行された場合、問題はビデオのハードウェアとは関係ありません。「[ソフトウェアの問題解決](#)」へ進みます。
テストが正常に終了しない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

キーボードのトラブルシューティング

問題

1. システムエラーメッセージが、キーボードに問題があることを示している

処置

1. キーボードおよびキーボードケーブルに損傷がないかどうかを調べます。
2. キーボードのキーを1つずつ押してください。
キーボードおよびキーボードケーブルに損傷がなく、各キーが正常に動作していれば、手順4に進みます。
キーボードまたはキーボードケーブルに損傷がある場合は、手順3に進みます。
3. 障害のあるキーボードを正常なキーボードと取り替えます。

問題が解決した場合、キーボードを交換する必要があります。「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

4. システム診断プログラムのキーボードのテストを実行します。

キーボードを使ってキーボードのテストを選択できたら、手順6に進みます。

キーボードを使ってキーボードのテストを選択できない場合、手順5に進みます。

5. 障害のあるキーボードを正常なキーボードと取り替えます。
6. キーボードのテストは成功しましたか？

問題が解決した場合、キーボードを交換する必要があります。問題が解決しない場合、システム基板上のキーボードコントローラに障害があります。「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

基本的なI/O機能のトラブルシューティング

問題

1. システムエラーメッセージが、I/Oポートに問題があることを示している
1. ポートに接続されたデバイスが正しく機能していない

処置

1. セットアップユーティリティをチェックします。手順については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

セットアップユーティリティが正しい場合は、手順4に進みます。

2. セットアップユーティリティの記述内容を必要に応じて修正します。ポートの問題が特定のアプリケーションプログラムだけで発生する場合は、そのアプリケーションプログラムのマニュアルを参照して、特別なポート設定が必要かどうか確認してください。

3. 診断プログラムディスクセットからシステムを再起動し、シリアルポートテストとパラレルポートテストの両方またはどちらか一方を実行します。

テストが正常に終了しない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

4. 問題が解決しない場合は、正常に機能しないデバイスによって「[パラレルプリンタのトラブルシューティング](#)」または「[シリアルI/Oデバイスのトラブルシューティング](#)」のいずれかの手順を参照してください。

シリアルI/Oデバイスのトラブルシューティング

問題

1. シリアルポートに接続されたデバイスが動作していない

処置

1. システムおよびシリアルポートに接続された周辺機器の電源を切ります。
2. インタフェースケーブルを、正常なケーブルと取り替えます。

問題が解決した場合、インタフェースケーブルを交換する必要があります。「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

3. システムとシリアルデバイスの電源を切り、デバイスを同種のデバイスと交換します。
4. システムとシリアルデバイスの電源を入れます。

問題が解決した場合、シリアルデバイスを交換する必要があります。問題が解決しない場合、「[困ったときは](#)」を参照してテクニカルサポートにお問い合わせください。

パラレルプリンタのトラブルシューティング

問題

1. パラレルプリンタが動作していない

処置

1. システムとプリンタの電源を切ります。
2. パラレルプリンタのインタフェースケーブルを、正常なケーブルと取り替えます。
3. システムとプリンタの電源を入れます。
4. プリンタで印刷します。

印刷が成功した場合、インタフェースケーブルを交換する必要があります。「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

5. プリンタの自己診断を実行します。

自己診断が成功しない場合、おそらくプリンタの不良です。プリンタをDell から購入された場合は、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

6. パラレルプリンタで印刷を試みます。

印刷ができない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

USBデバイスのトラブルシューティング

問題

- 1 システムエラーメッセージが、問題があることを示している
- 1 ポートに接続されたデバイスが動作していない

処置

1. セットアップユーティリティを起動し、USBポートが有効になっていることを確認します。手順については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
2. システムとすべてのUSBデバイスの電源を切ります。

システムに接続されたUSBデバイスが1台だけの場合、手順5に進みます。

3. USBデバイスを取り外し、誤動作しているデバイスを別のポートに接続します。
4. システムと再接続したデバイスの電源を入れます。

問題が解決した場合、USBポートが不良の可能性があります。「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

5. 可能であれば、インタフェースケーブルを正常なケーブルと取り替えます。

問題が解決した場合、インタフェースケーブルを交換する必要があります。「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

6. システムとUSBデバイスの電源を切り、デバイスを同種のデバイスと交換します。
7. システムとUSBデバイスの電源を入れます。

問題が解決した場合、USBシリアルデバイスを交換する必要があります。問題が解決しない場合、「[困ったときは](#)」を参照してテクニカルサポートにお問い合わせください。

内蔵NICのトラブルシューティング

問題

- 1 NICがネットワークと通信できない

処置

1. セットアップユーティリティを起動し、NICが有効になっていることを確認します。

手順については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

2. システム背面パネル上のNICコネクタの左右の角にある2個のインジケータを確認します(図5-4参照)。

緑色のリンクインジケータは、アダプタが有効なリンクパートナーに接続されていることを示します。ネットワークデータが送受信されると橙色の動作インジケータが点灯します。

- リンクインジケータが点灯していない場合は、すべてのケーブル接続を確認します。
- 可能であれば、自動ネゴシエーション設定を変更してみてください。
- スイッチまたはハブの別のポートを試してください。

3. 動作インジケータが点灯しない場合、ネットワークドライバファイルが損傷を受けているか、または削除されている可能性があります。
4. ドライバを再インストールします。
5. 適切なドライバがインストールされ、プロトコルがバウンドされていることを確認します。

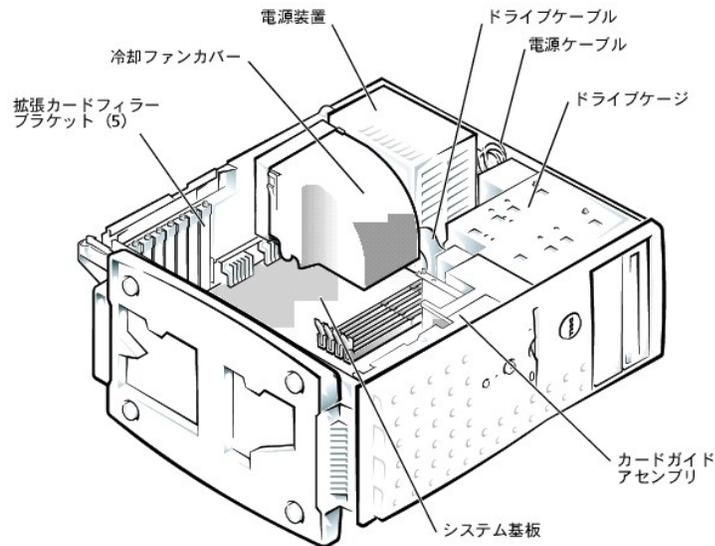
図5-4. NICインジケータ



システムの内部

図5-5は、システムカバーおよび前面ベゼルが取り外された状態のシステムの内部配置図です。

図5-5. システムの内部



システム基板には、システムの制御回路や、その他の電子コンポーネントが搭載されています。いくつかのハードウェアオプション(マイクロプロセッサやメモリなど)は、直接システム基板に取り付けられています。最大5枚のPCI拡張カード(64ビット/66MHzのカードまたは64ビット/33MHzのカードが2枚、32ビット/33MHzのカードが3枚)をシステム基板に装着できます。

ドライブケースには2つの5.25インチフロントドライブベイがあり、CDまたはDVDドライブを含む最大2台のドライブとテープドライブなどのその他のデバイスを取り付けることができます。またドライブケースには、1インチIDEハードドライブを2台まで取り付けることができます。

さらに、カードガイドアセンブリには、3.5インチディスクドライブおよび1インチIDEハードドライブ用の追加のブラケットを2つ取り付けることができます。

注意: ハードドライブをカードガイドの隣のカードガイドアセンブリブラケットの下段に取り付けしないでください。このシステムでは、ドライブのカードガイドアセンブリブラケットの下段への取り付けはサポートされていません。

システムの内部を見る場合、電源装置から出ているDC電源ケーブルに注目してください。DC電源ケーブルが、システム基板、ドライブ、および外付けの周辺機器に接続するすべての拡張カードに電源を供給しています。

ワイドリボンケーブルは、内蔵ドライブ用のインターフェースケーブルです。ディスクドライブの場合、インターフェースケーブルはドライブをシステム基板や拡張カードのインターフェースコネクタに接続します。IDEデバイスの場合、インターフェースケーブルはデバイスをシステム基板のIDEコネクタに接続をします(詳細は、「[ドライブの取り付け](#)」を参照)。

取り付け手順またはトラブルシューティング手順では、ジャンパ設定を変更する必要がある場合があります。システム基板のジャンパの詳細については、「[ジャンパおよびコネクタ](#)」を参照してください。

システム管理サーバエージェントメッセージへの応答

オプションのシステム管理サーバエージェントは、システムの限界電圧と限界温度、システム冷却ファン、およびシステム内のハードドライブの状態を監視します。サーバエージェントは、警告ログウィンドウに表示されるアラートメッセージを生成します。警告ログウィンドウおよびオプションについては、システム管理サーバエージェントのマニュアルを参照してください。

システムが濡れた場合のトラブルシューティング

問題

- 1 液もれ
- 1 液はね
- 1 高湿度

処置

1. システムおよび周辺機器の電源を切り、コンセントから抜きます。
 2. システムカバーを取り外します。
 3. システムに取り付けられている拡張カードをすべて取り外します。
 4. システムを少なくとも24時間、乾かします。
 5. システムカバーを取り付け、システムをコンセントに接続して、システムの電源を入れます。
- システムを正常に起動できない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

6. 正常にシステムが起動する場合、システムをシャットダウンして手順3で取り外したすべての拡張カードを取り付けます。
7. システム診断プログラムのシステム基板のテストを実行して、システムが正常に動作していることを確認します。

テストが正常に終了しない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

システムが損傷した場合のトラブルシューティング

問題

- 1 システムを落したり損傷を与えた

処置

1. 拡張カードのシステム基板への接続を確認します。
2. すべてのケーブルが正しく接続されていること、およびすべてのコンポーネントがコネクタやソケットに正しく装着されていることを確認します。
3. システム診断プログラムのシステム基板のテストを実行します。

テストが正常に終了しない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

システムバッテリーのトラブルシューティング

問題

- 1 エラーメッセージがバッテリーの問題を示している
- 1 セットアップユーティリティからシステム設定情報が消えている
- 1 システムの日時が正しくない

処置

1. コイン型バッテリーとシステム基板間の接続をチェックします。
「システム基板オプションの取り付け」の「[システムバッテリーの取り付け](#)」を参照してください。

▲ 危険: バッテリーの取り付け方が間違っていると、バッテリーが破裂する危険があります。バッテリーは、必ず同一タイプまたはメーカーが推奨する同等のものと交換してください。使用済みのバッテリーは、メーカーの指示に従って廃棄してください。

2. バッテリーを取り付け直しても問題が解決しない場合は、バッテリーを交換します。
バッテリーを交換しても問題が解決しない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

電源装置のトラブルシューティング

問題

- 1 システムベゼルの緑色の電源インジケータが点灯していない
- 1 サーバ管理アプリケーションが、電源装置に関連したエラーメッセージを示している

処置

1. コンセントと電源ケーブルをチェックします（「インジケータ、メッセージ、およびコード」の「[接続とスイッチのチェック](#)」を参照）。
2. システムと取り付けられた周辺機器の電源を切って、すべての電源ケーブルをコンセントから抜きます。

▲ 警告: 『システム情報ガイド』の「[静電気放出への対処](#)」を参照してください。

3. システムカバーを取り外します。「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照してください。
4. 電源ケーブルがシステム基板のPOWERコネクタに接続されていることを確認します。

問題が解決しない場合、「[困ったときは](#)」を参照してテクニカルサポートにお問い合わせください。

冷却ファンのトラブルシューティング

問題

- 1 ファンが動作していない
- 1 サーバ管理アプリケーションが、ファンに関連したエラーメッセージを示している

処置

1. システムと取り付けられた周辺機器の電源を切って、すべての電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します（「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」参照）。
3. ファンケーブルのシステム基板のSYS_FAN2 コネクタへの接続をチェックします。

問題が解決しない場合、「[困ったときは](#)」を参照してテクニカルサポートにお問い合わせください。

拡張カードのトラブルシューティング

問題

- 1 エラーメッセージが拡張カードの問題を示している
- 1 拡張カードが間違った動作をしているか、まったく機能していない

処置

1. システムと取り付けた周辺機器の電源を切って、すべての電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します（「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」参照）
3. それぞれの拡張カードがしっかりとコネクタに接続されていることを確認します。
4. 適切なケーブルが、拡張カード上の該当するコネクタにしっかりと接続されていることを確認します。
5. システムカバーを取り付けます。
6. システムをコンセントに接続し、システムの電源を入れます。それでも問題が解決しない場合、手順7に進みます。
7. システムの電源を切り、システムをコンセントから外します。
8. システムカバーを取り外します。
9. システムに取り付けられている拡張カードをすべて取り外します。
10. システムカバーを取り付けます。
11. システムをコンセントに接続し、システムの電源を入れます。
12. システム診断プログラムのシステムメモリのテストを実行します。

テストが正常に終了しない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

13. 手順9で取り外した拡張カードの1つを取り付けます（「システム基板オプションの取り付け」の「[拡張カードの取り付け](#)」を参照）。
14. システムカバーを取り付け、システムをコンセントに接続して、システムの電源を入れます。

それでも問題が解決しない場合、残りの拡張カードについてそれぞれ手順13と14を繰り返します。

すべての拡張カードを取り付け直してもシステムメモリのテストが失敗する場合、「[困ったときは](#)」を参照してテクニカルサポートにお問い合わせください。

システムメモリのトラブルシューティング

問題

- 1 メモリモジュールの不良
- 1 システム基板の不良

処置

1. システムとすべての周辺機器の電源を入れます。
エラーメッセージが出ない場合、手順4に進みます。
2. セットアップユーティリティを起動して、システムメモリ設定をチェックします。
手順については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
3. 搭載しているメモリ量がシステムメモリの設定値に一致している場合、手順8に進みます。
4. システムと取り付けた周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

⚠ 警告：『システム情報ガイド』の安全上の注意の「静電気放出への対処」を参照してください。

5. システムカバーを取り外します（「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」参照）
6. メモリモジュールをソケットに取り付けなおします。
7. システムカバーを取り付け、システムをコンセントに接続して、システムの電源を入れます。
8. セットアップユーティリティを起動して、システムメモリを再度チェックします。
9. 搭載しているメモリ量が、システムメモリの設定に一致しますか？
搭載しているメモリ量がシステムメモリの設定に一致していない場合、手順10に進みます。
10. システムを再起動し、モニタ画面およびキーボードのNum Lock、Caps Lock、およびScroll Lockインジケータを観察します。

モニタ画面に何も表示されていない状態で、キーボードのNum Lock、Caps Lock、およびScroll Lockインジケータが点灯したままであれば、手順11に進みます。

モニタ画面に何も表示されていない状態ではなく、キーボードのNum Lock、Caps Lock、およびScroll Lockインジケータが点灯したままであれば、手順16に進みます。

- 手順4と5を繰り返します。

 **メモ:** メモリモジュールには複数の構成方法があります。「システム基板オプションの取り付け」の「[メモリモジュールの取り付けガイドライン](#)」を参照してください。次の手順は構成の1つの例です。

- ソケットDIMM_Aのメモリモジュールを同じ容量のものと交換します。
- システムカバーを取り付け、システムをコンセントに接続して、システムの電源を入れます。
- システムを再起動し、モニタ画面およびキーボードのインジケータを観察します。
- それでも問題が解決しない場合、取り付けられている各メモリモジュールについて手順12～14を繰り返します。

問題が解決しない場合、「[困ったときは](#)」を参照してテクニカルサポートにお問い合わせください。

- システム診断プログラムのシステムメモリのテストを実行します。

テストが正常に終了しない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

ビデオサブシステムのトラブルシューティング

問題

- モニタが動作していない
- モニタのインタフェースケーブルが正しく接続されていないか破損している
- ビデオロジックの問題

処置

- システムおよび電源のモニタへの接続を確認します。
- システム診断プログラムのビデオテストを実行します。

テストが正常に実行された場合、問題はビデオのハードウェアとは関係ありません。「[ソフトウェアの問題解決](#)」を参照してください。

テストが正常に終了しない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

システム基板のトラブルシューティング

問題

- エラーメッセージが、システム基板に問題があることを示している

処置

- システムと取り付け付けた周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
- システムカバーを取り外します（「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」参照）。
- すべての拡張カードを取り外します。
- システムカバーを取り付け、システムをコンセントに接続して、システムの電源を入れます。
- システム診断プログラムのシステム基板のテストを実行します。

テストが正常に終了しない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

- システムの電源を切り、コンセントから外し、システムカバーを取り外します。
- 手順3で取り外した拡張カードの1つを取り付けます（「システム基板オプションの取り付け」の「[拡張カードの取り付け](#)」を参照）。
- システムカバーを取り付け、システムをコンセントに接続して、システムの電源を入れます。
- システム基板のテストを再度実行します。

テストは成功しましたか？

テストが正常に終了しない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

- 手順3で取り外した残りの拡張カードについて、手順7～9を繰り返します。

すべての拡張カードを取り付けなおしても問題が解決しない場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

ディスクドライブのトラブルシューティング

問題

- 起動ルーチンまたはシステム診断プログラムの実行中に、ディスクドライブの問題を示すエラーメッセージが表示される

処置

1. セットアップユーティリティを起動し、システムが正しく設定されていることを確認します。手順については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
2. システム診断プログラムのディスクドライブのテストを実行し、ディスクドライブサブシステムが正常に動作するかどうかを確認します。
3. システムと取り付けられた周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
4. システムカバーを取り外します。
5. ディスクドライブインタフェースケーブルが、ディスクドライブアセンブリとシステム基板の間でしっかりと接続されているか確認します。
6. システムカバーを取り付け、システムをコンセントに接続して、システムおよび周辺機器の電源を入れます。
7. システム診断プログラムのディスクドライブのテストを実行し、ディスクドライブが正常に動作するかどうかを確認します。
8. それでもドライブが動作しない場合は、すべての拡張カードを取り外します。
9. システム診断プログラムのディスクドライブのテストを実行し、ディスクドライブが正常に動作するかどうかを確認します。

テストが正常に実行された場合、拡張カードがディスクドライブロジックとコンフリクトを起こしているか、拡張カードに障害がある可能性があります。手順11に進みます。

テストが失敗した場合、「[困ったときは](#)」を参照して、テクニカルサポートにお問い合わせください。

10. 手順9で取り外した拡張カードの1つを取り付けます。
11. システム診断プログラムのディスクドライブのテストを再度実行し、ディスクドライブサブシステムが正常に動作するかどうか確認します。
12. すべての拡張カードを取り付けなおすか、拡張カードを1枚ずつ取り付けて診断ディスクからシステムを起動できない拡張カードを発見するまで、手順11と12を繰り返します。

問題が解決しない場合、「[困ったときは](#)」を参照してテクニカルサポートにお問い合わせください。

CDおよびDVDドライブのトラブルシューティング

問題

1. システムがCDからデータを読み取れない
1. CDドライブインジケータが起動中に点滅しない

処置

1. システムと取り付けられた周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します。
3. CDドライブインタフェースケーブルが、CDドライブアセンブリとシステム基板の間でしっかりと接続されているか確認します。
4. システムカバーを取り付け、システムをコンセントに接続して、システムおよび周辺機器の電源を入れます。
5. システム診断プログラムのIDEデバイスのテストを実行し、CDドライブが正常に動作するかどうかを確認します。

問題が解決しない場合、「[困ったときは](#)」を参照してテクニカルサポートにお問い合わせください。

ハードドライブのトラブルシューティング

問題

1. ドライブ自体

処置

警告: このトラブルシューティング手順を実行すると、ハードディスクドライブに保存されたデータが破壊されることがあります。手順に進む前に、ハードディスクドライブ上のすべてのファイルをバックアップしてください。

1. システムと取り付けられた周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します。
3. ハードドライブインタフェースケーブルが、ハードドライブアセンブリとシステム基板の間でしっかりと接続されているか確認します。
4. システムカバーを取り付け、システムをコンセントに接続して、システムおよび周辺機器の電源を入れます。
5. システム診断プログラムのIDEデバイスのテストを実行し、ハードドライブが正常に動作するかどうかを確認します。

問題が解決しない場合、「[困ったときは](#)」を参照してテクニカルサポートにお問い合わせください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

システム基板オプションの取り付け

Dell™ PowerEdge™ 500SG システム インストール&トラブルシューティング

- [ファンアセンブリの取り外しと取り付け](#)
- [拡張カードの追加と交換](#)
- [メモリの追加](#)
- [マイクロプロセッサのアップグレード](#)
- [システムバッテリーの取り付け](#)

この項では、以下のオプションを取り付ける方法、または交換する方法について説明します。

- 1 拡張カード
- 1 メモリモジュール
- 1 マイクロプロセッサ
- 1 ファンアセンブリおよび冷却カバー
- 1 電源装置
- 1 システムバッテリー

図6-1を使ってシステム基板の位置を確認します。表6-1に、システム基板のコネクタおよびソケットを示します。

危険: この項で説明する手順を実行する前に、システムの電源を切り、コンセントから外してください。詳細については、「システムのトラブルシューティング」の「[作業にあたっての注意](#)」を参照してください。

図6-1. システム基板の機能

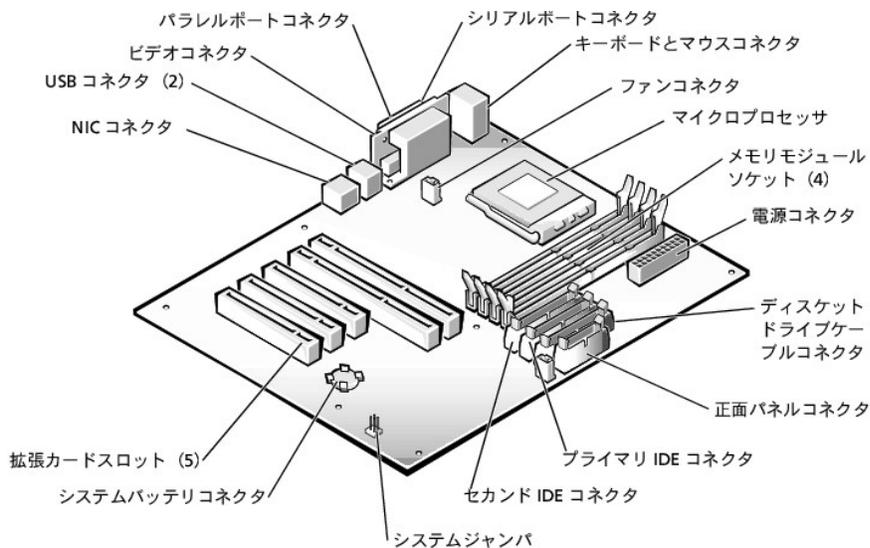


表6-1. システム基板のコネクタおよびソケット

コネクタまたはソケット	説明
BATTERY	システムバッテリーコネクタ
COM1	シリアルポートコネクタ
DIMM_x	メモリモジュールソケット (DIMM_A-DIMM_D)
SLOT_n	拡張カードコネクタ (SLOT_1-SLOT_5)
LAN1	NICコネクタ
SYS_FAN2	ファンコネクタ
PRIMARY IDE	プライマリIDEコネクタ
SECONDARY IDE	セカンドIDEコネクタ
FDD	ディスクドライブケーブルコネクタ
KY	キーボードコネクタ
MS	マウスコネクタ
FRONT PANEL	システム正面パネルコネクタ

LPT	パラレルポートコネクタ
POWER	電源コネクタ
CPU	マイクロプロセッサソケット
USB	USBコネクタ
VGA	ビデオコネクタ
J12	システムジャンパ

メモ: この表で使用されている略語の正式名称は、「略語一覧」を参照してください。

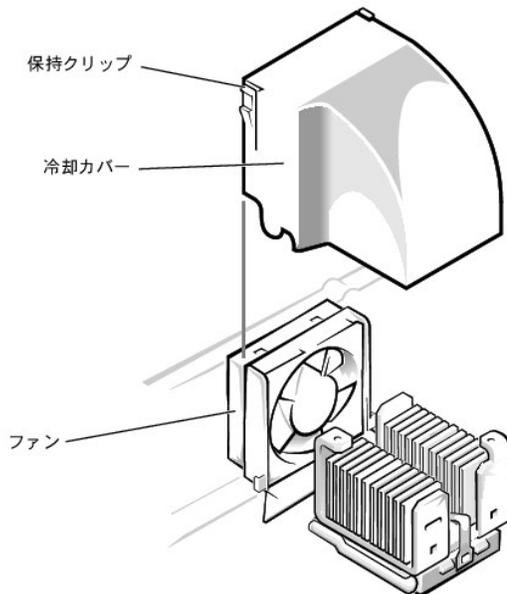
ファンアセンブリの取り外しと取り付け

ファンアセンブリは、ファンと冷却カバーで構成されています。冷却カバーは、マイクロプロセッサへの空気の流れを良くするために使用されます。

冷却カバーの取り外し

1. システムと周辺機器の電源を切って、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します（「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照）。
3. 冷却カバーの上端のクリップを押し込んで冷却カバーを取り外し、システムから真っ直ぐ持ち上げます（[図6-2](#)参照）。

図6-2. 冷却カバーの取り外し



冷却カバーの取り付け

冷却カバーをファンアセンブリガイドに置き、保持クリップがカチッと鳴って所定の位置に収まるまでカバーを真っ直ぐ押し下げます。

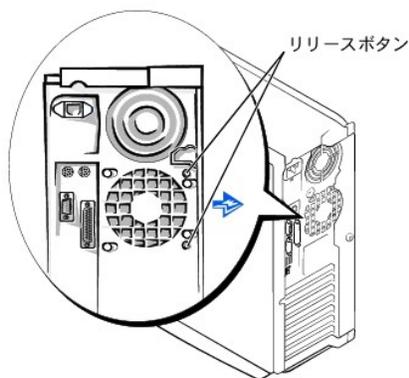
ファンの取り外し

1. システムと周辺機器の電源を切って、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します（「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照）。
3. 冷却カバーを取り外します（「[冷却カバーの取り外し](#)」参照）。
4. ファンアセンブリを上にしたまま、システム背面の2つのリリースボタンを押し、ファンアセンブリを保持ブラケットから持ち上げて外します（[図6-3](#)参照）。

メモ: ファンケーブルをシステム基板から外し終わるまで、ファンをシステムから持ち上げないでください。

5. ファンが保持ブラケットから外れたら、ファンケーブルをシステム基板のSYS.FAN2コネクタから取り外し、ファンをシステムから持ち上げて取り外します。

図6-3. ファンの取り外し



ファンの取り付け

1. ファン電源ケーブルをシステム基板のファンコネクタ(SYS_FAN2)へ接続します(図6-1参照)。
2. ファン背面のブラケットを背面パネルの対応する穴に合わせ、ファンがしっかり装着されリリースボタンがかみ合うまで慎重に押し込みます(図6-3参照)。
3. 冷却カバーを取り付けます(「冷却カバーの取り付け」参照)。
4. システムカバーを取り付けます(「システムカバーおよびサポートレバーの取り付け」参照)。

拡張カードの追加と交換

拡張カードはシステムに取り付けられています(図6-1参照)。5つの拡張カードスロットが利用できます。

カードガイドアセンブリは拡張カードを固定するのに役立ちます。

拡張カードの取り付け

▲ 危険: この項で説明する手順を実行する前に、システムの電源を切り、コンセントから外してください。詳細については、「システムのトラブルシューティング」の「作業にあたっての注意」を参照してください。

1. システムおよび周辺機器の電源を切り、コンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「システムカバーおよびサポートレバーの取り外し」を参照)。

▲ 警告: 『システム情報ガイド』の安全上の注意の「静電気放出への対処」を参照してください。

カードの設定や取り付けの方法、またはシステムに合わせたカスタマイズの方法については、拡張カードに付属のマニュアルを参照してください。

3. 使用したいカードスロットのフィルターブラケットのネジを外し、ブラケットを取り外します。拡張カードの取り付けに必要なので、取り外したネジを紛失しないように注意します(「フィルターブラケットの取り外し」参照)。

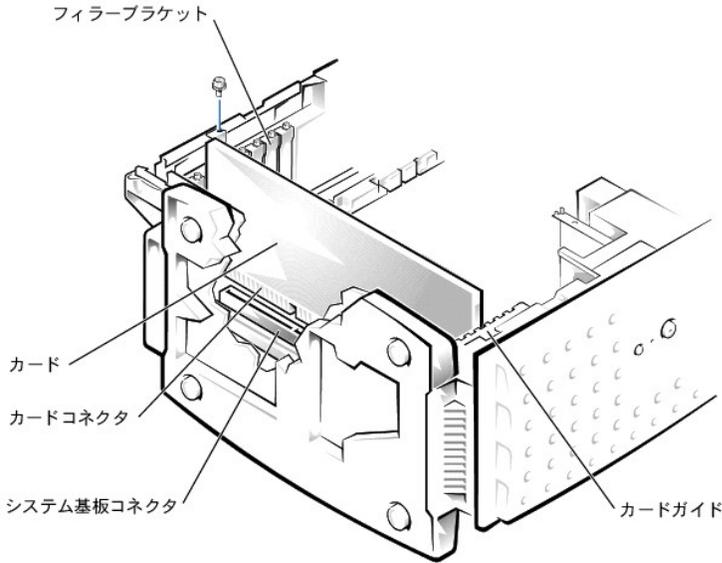
図6-4. フィルターブラケットの取り外し



4. カード底面の切り欠きをシステム基板コネクタのクロスバーに合わせます。カードを左右にゆっくり動かしながら、完全に押し込んでください(図6-5参照)。

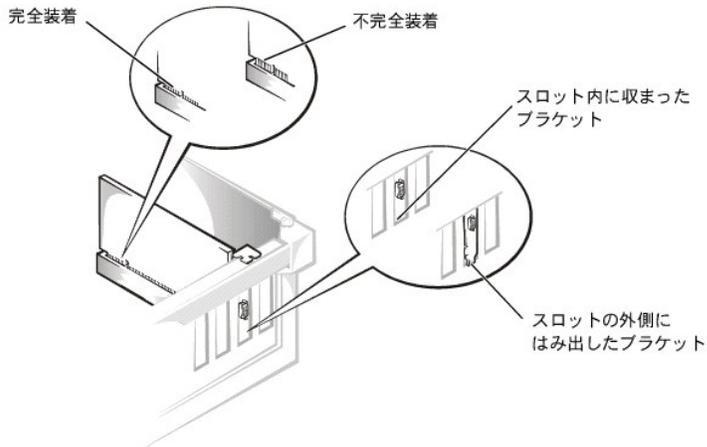
フルサイズのカードの場合、コネクタにカードを挿入する際に、カードの前端をシステム前部の対応するカードガイドに挿入します。

図6-5. 拡張カードの取り付け



カードが完全に装着され、そのブラケットがカードスロット内に収まっていることを確認します (図6-6参照)。

図6-6. 拡張カードの装着



5. 手順3で取り外したネジでカードの端にあるブラケットを固定します。
6. カードのマニュアルの説明に従って、カードに必要なすべてのケーブルを接続します。
7. システムカバーを取り付けます (「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。
8. システムおよびデバイスをコンセントに接続し、電源を入れます。
9. カードのマニュアルの説明に従って、カードに必要なすべてのドライバをインストールします。

拡張カードの取り外し

1. システムカバーを取り外します (「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
2. 拡張カードに接続されているケーブルをすべて外します。
3. カードブラケットからネジを取り外します。
4. カード上部の両角をつかんで、システム基板から持ち上げます。
5. 拡張カードを取り外したままにする場合、空になるカードスロットの開口部に金属製のフィラーブラケットを取り付けます。

メモ: FCC (Federal Communications Commission) のシステム認可規格にコンピュータを準拠させるには、空の拡張スロットにフィラーブラケットを取り付ける必要があります。ブラケットを取り付ければ、システムが塵や埃から保護されるとともに、システム内部の空気循環と冷却にも効果的です。

6. システムカバーを取り付け、システムと周辺装置をコンセントに接続し、システムの電源を入れます (「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。

メモリの追加

システム基板上の4個のメモリモジュールソケットには、64MB~2GBのSDRAMを取り付けることができます(図6-1参照)。

メモリアップグレードキット

このシステムでは、64、128、256、および512 MBのメモリモジュールを組み合わせて取り付けることにより、メモリを2GBまでアップグレードすることが可能です。メモリ最大値を越えましたという文で始まるエラーメッセージを受け取った場合は、詳細について「[インジケータ、メッセージ、およびコード](#)」を参照してください。メモリアップグレードキットは必要に応じてご購入いただけます。

メモ: メモリモジュールはPC-133対応でなくてはなりません。

メモリモジュールの取り付けガイドライン

最適な動作を実現するため、DIMM_Aソケット(マイクロプロセッサから1番遠い位置)からDIMM_Dソケットに向かって、ソケットをとばさずにメモリモジュールを取り付けてください。

図6-7. メモリモジュールソケット

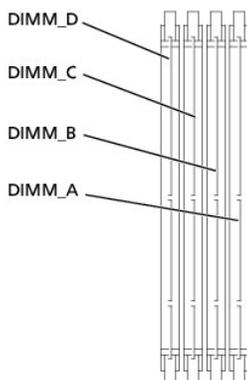


表6-2. メモリモジュール構成の例

メモリ総量	DIMM_A	DIMM_B	DIMM_C	DIMM_D
64 MB	64 MB	—	—	—
128 MB	128 MB	—	—	—
256 MB	128 MB	128 MB	—	—
512 MB	256 MB	256 MB	—	—
768 MB	256 MB	256 MB	256 MB	—
1 GB	256 MB	256 MB	256 MB	256 MB
2 GB	512 MB	512 MB	512 MB	512 MB

表6-2に、これらのガイドラインを基本にした、メモリ構成の例を示します。

メモリアップグレードの実行

危険: この項で説明する手順を実行する前に、システムの電源を切り、コンセントから外してください。詳細については、「システムのトラブルシューティング」の「[作業にあたっての注意](#)」を参照してください。

警告: 『システム情報ガイド』の安全上の注意の「[静電気放出への対処](#)」を参照してください。

1. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
2. メモリモジュールを取り付けるか交換する、メモリモジュールソケットの位置を確認します。図6-7には、メモリモジュールソケットの順番を示します。
3. 希望の容量になるように、必要に応じてメモリモジュールを取り付けまたは交換します(「[メモリモジュールの取り付け](#)」または「[メモリモジュールの取り外し](#)」参照)。
4. システムカバーを取り付け、システムをコンセントに接続し、システムの電源を入れます(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。POST(電源投入時の自己診断)が終了すると、メモリテストが実行されます。

NVRAMに保存されたシステム設定情報と新しいメモリ設定が一致しないことが検出されます。エラーメッセージの最後は次のようになっています。

Press <F1> to continue; <F2> to enter System Setup

5. <F2>を押してセットアップユーティリティを起動し、System Setup(システムセットアップ)画面のシステムデータボックスにあるSystem Memoryの設定をチェックします。System Memoryの設定値には、新たに取り付けられたメモリがすでに反映されているはずですが。
6. System Memoryの値が正しくない場合は、1つまたは複数のメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。手順1~4を繰り返し、メモリモジュールがソケットにしっかりと装着されているかどうか確認します。
7. システム診断プログラムのシステムメモリのテストを実行します(「[システム診断プログラムの実行](#)」参照)。

メモリモジュールの取り付け

危険:この項で説明する手順を実行する前に、システムの電源を切り、コンセントから外してください。詳細については、「システムのトラブルシューティング」の「作業にあたっての注意」を参照してください。

警告:『システム情報ガイド』の安全上の注意の「静電気放出への対処」を参照してください。

1. システムカバーを取り外します（「システムのトラブルシューティング」の「システムカバーおよびサポートレバーの取り外し」を参照）。
2. 図6-8に示すように、メモリモジュールソケットの取り付けクリップを押し開き、ソケットにメモリモジュールを装着できる状態にします。
3. モジュール底面の切り込みをコネクタのクロスバーに合わせます。

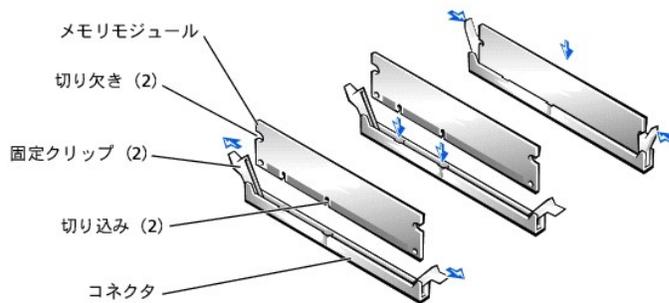
注意:メモリモジュールが損傷を受けるのを避けるため、モジュールの中央付近を押ししないでください。

4. モジュールがコネクタ両端の垂直ガイドに収まっていることを確認しながら、モジュールをコネクタに真っ直ぐ押し込みます。メモリモジュールがカチッと所定の位置に装着されるまで、両端を強く押しします。

メモリモジュールがソケットに正しく取り付けられている場合、メモリモジュールソケットの取り出しクリップが、別のメモリモジュールが装着されている他のソケットのクリップと同じ位置にきます。

5. 手順2~4を繰り返して、残りのメモリモジュールを取り付けます。
6. 「[メモリアップグレードの実行](#)」の手順4~7を実行します。

図6-8. メモリモジュールの取り付け



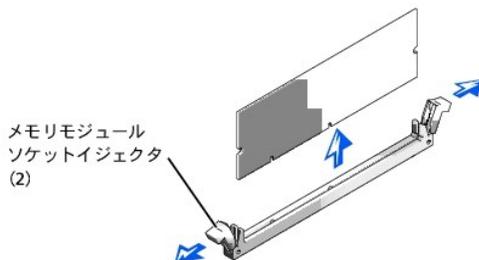
メモリモジュールの取り外し

危険:この項で説明する手順を実行する前に、システムの電源を切り、コンセントから外してください。詳細については、「システムのトラブルシューティング」の「作業にあたっての注意」を参照してください。

警告:『システム情報ガイド』の安全上の注意の「静電気放出への対処」を参照してください。

1. システムカバーを取り外します。
2. メモリモジュールを取り外すメモリモジュールソケットの位置を確認します。
[図6-7](#)には、メモリモジュールソケットの順番を示します。
3. メモリモジュールが飛び出して外れるまで、ソケットの両側にある取り出しクリップを押し開きます（[図6-9](#)参照）。

図6-9. メモリモジュールの取り外し



マイクロプロセッサのアップグレード

速度と機能をアップして将来のオプションを利用するために、システムマイクロプロセッサをアップグレードすることができます。

マイクロプロセッサおよび関連するL2キャッシュメモリは、システム基板のZIFソケットに取り付けられたPGAパッケージに格納されています。以下の項では、マイクロプロセッサをアップグレードする、ま

たは交換する方法について説明します。

マイクロプロセッサの交換

マイクロプロセッサアップグレードキットには、次の品目が含まれています。

- 1 マイクロプロセッサ
- 1 ヒートシンク
- 1 固定クリップ

メモ: この手順は、技術的な知識を持った人がおこなうことをお勧めします。

1. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
2. 冷却カバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[冷却カバーの取り外し](#)」を参照)。

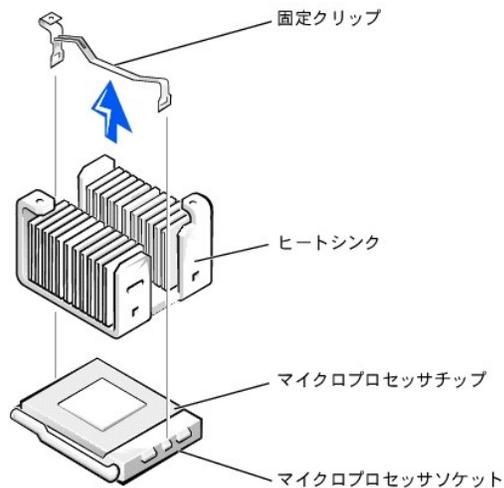
警告: 『システム情報ガイド』の安全上の注意の「[静電気放出への対処](#)」を参照してください。

3. ヒートシンクの固定クリップを押し下げて、クリップがZIFソケットの保持タブから外れるようにします(図6-10参照)。
4. 固定クリップを取り外します。

警告: マイクロプロセッサを取り外す以外は、決してヒートシンクをマイクロプロセッサから取り外さないでください。ヒートシンクは適切な温度に維持する必要があります。

警告: マイクロプロセッサおよびヒートシンクは、非常に高温になることがあります。マイクロプロセッサを取り扱う前には十分に時間をかけ、温度が下がっていることを確認してください。

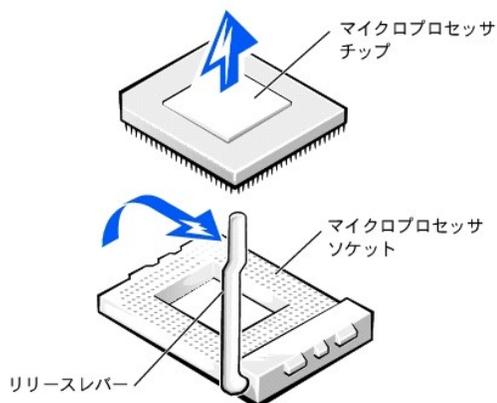
図6-10. 固定クリップ



5. ヒートシンクを取り外します。
6. マイクロプロセッサが外れるまで、ソケットリリースレバーを垂直に引き上げます(図6-11参照)。
7. マイクロプロセッサをソケットから取り外したら、新しいマイクロプロセッサをすぐに取り付けられるよう、リリースレバーは引き上げたままにしておきます。

警告: マイクロプロセッサを取り外すときは、ピンを曲げないように気をつけてください。ピンが曲がると、マイクロプロセッサに修復できない障害が生じます。

図6-11. マイクロプロセッサの取り外し



8. 新しいマイクロプロセッサを箱から取り出します。

マイクロプロセッサのピンが曲がっているようであれば、「[困ったときは](#)」を参照してテクニカルサポートにお問い合わせください。

9. マイクロプロセッサの1番ピンの角(図6-12参照)をマイクロプロセッサソケットの1番ピンの角に合わせます。

メモ: マイクロプロセッサを正しい位置に配置するには、1番ピンの位置を確認することが重要です。

中央の大きな長方形の1つの角から延びている金色の小さな三角形を探して、マイクロプロセッサの1番ピンを確認します。金色の三角形は1番ピンを指しています。また、1番ピンは正方形のパッドによっても確認できます。

図6-12. 1番ピンの確認



10. ソケットにマイクロプロセッサを取り付けます(図6-13参照)。

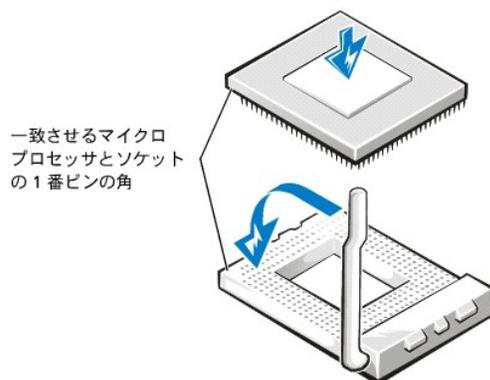
警告: マイクロプロセッサが正しく設置されていないと、システムの電源を入れたときに、マイクロプロセッサやシステムが修復できない損傷を受けます。マイクロプロセッサをソケットに設置する場合、マイクロプロセッサ上のすべてのピンがソケットの対応する穴に入ることを確認してください。ピンを曲げないように注意してください。

マイクロプロセッサソケットのリリースレバーが完全に開いていない場合、ここで解放位置まで動かします。

マイクロプロセッサの1番ピンの角とソケットの位置を合わせ、チップをソケットに軽く載せてから、マイクロプロセッサのすべてのピンがソケットの穴と揃っていることを確認します。システムはZIFマイクロプロセッサソケットを使用しているので、強く押し込む必要はありません(無理に押し込むと、マイクロプロセッサの位置がうまく合っていない場合ピンを曲げてしまうことがあります)。マイクロプロセッサが所定の位置にセットされていれば、軽く押し込むと自然とソケットに収まります。

マイクロプロセッサをソケットに完全に装着できたら、ソケットのリリースレバーを所定の位置にカチッと収まるまで後ろ側へ押し下げ、マイクロプロセッサを固定します。

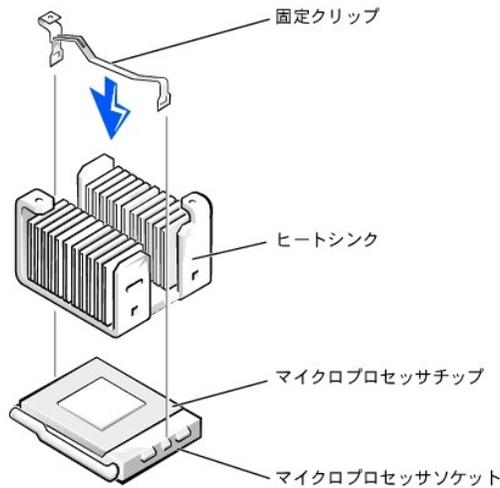
図6-13. マイクロプロセッサの取り付け



11. 新しいヒートシンクをマイクロプロセッサの上に乗せます(図6-14参照)。

- 1 お持ちのヒートシンクの底面上にフォイルサーマルインタフェース金属ストリップが付いている場合、ヒートシンクをマイクロプロセッサの上に載せます。
 - 1 お持ちのヒートシンクにサーマルグリースタブが付いている場合、タブを取り外してからヒートシンクをマイクロプロセッサの上に載せます。
 - 1 ヒートシンクサーマルグリースが提供されている場合、ヒートシンクをきれいにし、サーマルグリースを取り付けてからヒートシンクをマイクロプロセッサの上に載せます。
- 12 固定クリップを[図6-14](#)のように向けます。

図6-14. ヒートシンクの取り付け



- 13 ヒートシンクラッチのない方のクリップの端を、システムの正面を向いたソケットの端にあるタブに引っかけます。
- 14 ヒートシンクラッチを押し下げ、クリップの穴がZIFソケットタブにしっかり掛かるまで上下に動かします。
- 15 ラッチがかみ合っていることを確認します。
- 16 冷却カバーを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[冷却カバーの取り付け](#)」を参照)。
- 17 システムおよび周辺機器をコンセントに接続し、システムの電源を入れます。
- 18 <F2>を押してセットアップユーティリティを起動し、PROCESSOR 1カテゴリが新しいシステム設定と一致していることを確認します。

手順については、システムの『ユーザーズガイド』を参照してください。

- 19 システムを起動すると、新しいプロセッサを認識し、セットアップユーティリティのシステム設定情報を自動的に変更します。
- 20 セットアップユーティリティを起動し、システムデータ領域の1行目がインストールしたプロセッサを認識していることを確認します。『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。
- 21 システム診断プログラムを実行して、新しいマイクロプロセッサが正常に動作していることを確認します(「[システム診断プログラムの実行](#)」参照)。

システムバッテリーの取り付け

システムバッテリーはシステムの電源が切られている間、システム設定、日付および時刻の情報をメモリの特別なセクション内に保持します。バッテリーの寿命は2~5年です。起動ルーチン中に以下のようなメッセージとともに不正確な日付や時刻が表示されるときは、バッテリーを交換する必要があるかもしれません。

Time-of-day not set - please run SETUP program
(日時が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください。)
Strike the F1 key to continue, F2 to run the setup utility
(続けるにはF1を、セットアップユーティリティを起動するにはF2を押してください。)

または

System CMOS checksum bad -- Run SETUP
(システムCMOSチェックサムの不良。セットアップユーティリティを実行してください。)
Strike the F1 key to continue, F2 to run the setup utility

または

Invalid configuration information -- please run SETUP program
(無効な設定情報 - セットアップユーティリティを実行してください。)
Strike the F1 key to continue, F2 to run the setup utility

バッテリーを交換する必要があるかどうか確認するには:

- 1 セットアップユーティリティを使用して日付と時刻を再入力します。
- 2 システムの電源を切り、コンセントから2~3時間外します。
- 3 システムをコンセントに接続し、電源を入れます。
- 4 セットアップユーティリティを起動します。

セットアップユーティリティの日付と時刻が正しくない場合は、バッテリーを交換します。

メモ: 一部のソフトウェアには、システムの時刻を進めたり遅らせたりするものがあります。セットアップユーティリティ内に保持されている時刻以外で、システムが正常に動作していると思われる場合、障害の原因はバッテリーではなくソフトウェアにあると考えられます。

メモ: 長い期間(数週間または数ヶ月)システムの電源が切られていた場合、NVRAMはシステム設定情報を喪失している可能性があります。これは、バッテリーの不良によるものではありません。

バッテリーがなくてもシステムは動作可能です。ただし、この場合、システムの電源を切るたびに、バッテリーによってNVRAM内に保持されるシステム設定情報が消えてしまいます。したがって、バッテリーを取り付けるまでは、システムを起動するたびに、システム設定情報を再入力し、オプションを再設定する必要があります。

バッテリーは3.0 Vコイン型バッテリーです。バッテリーを取り外すには、次の手順を実行します。

危険: この項で説明する手順を実行する前に、システムの電源を切り、コンセントから外してください。詳細については、「システムのトラブルシューティング」の「[作業にあたっての注意](#)」を参照してください。

危険: バッテリーの取り付け方が間違っていると、バッテリーが破裂する危険があります。バッテリーは、必ず同一タイプまたはメーカーが推奨する同等のものとの交換してください。バッテリーを廃棄する場合は、メーカーの指示に従ってください。

1. セットアップユーティリティを起動して、できればシステムセットアップ画面をプリントアウトします。

手順については、『ユーザーズガイド』の「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

2. システムおよび周辺機器の電源を切り、システムをコンセントから外します。

警告: 『システム情報ガイド』の安全上の注意の「[静電気放出への対処](#)」を参照してください。

3. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
4. バッテリーへのアクセスを妨げているすべての拡張カードを取り外します(「[拡張カードの取り外し](#)」参照)。
5. バッテリーを取り外します(バッテリーの位置は、[図6-1](#)を参照)。
6. プラスチックのネジ回しなど、非伝導性の工具や指先を使って、バッテリーをソケットから取り外します。
7. 新しいバッテリーを、「+」の側が上になるように取り付けます([図6-15](#)参照)。
8. 手順4で取り外した拡張カードをすべて取り付けます(「[拡張カードの取り付け](#)」参照)。

図6-15. バッテリーの取り付け



9. システムカバーを取り付け、システムと周辺装置をコンセントに接続し、システムの電源を入れます。
10. セットアップユーティリティを起動して、バッテリーが正常に動作していることを確認します。
11. セットアップユーティリティのTime およびDateの設定で正しい時刻と日付を入力します。
セットアップ画面に表示されなくなったシステム設定情報も再入力します。その後で、セットアップユーティリティを終了します。
12. 新しく取り付けたバッテリーをテストするには、システムの電源を切り、少なくとも1時間はコンセントから外します。
13. 1時間後、システムをコンセントに接続し、電源を入れます。
14. セットアップユーティリティを起動します。日付と時刻が依然として正しくない場合は、「[困ったときは](#)」を参照して、Dellテクニカルサポートにお問い合わせください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ドライブの取り付け

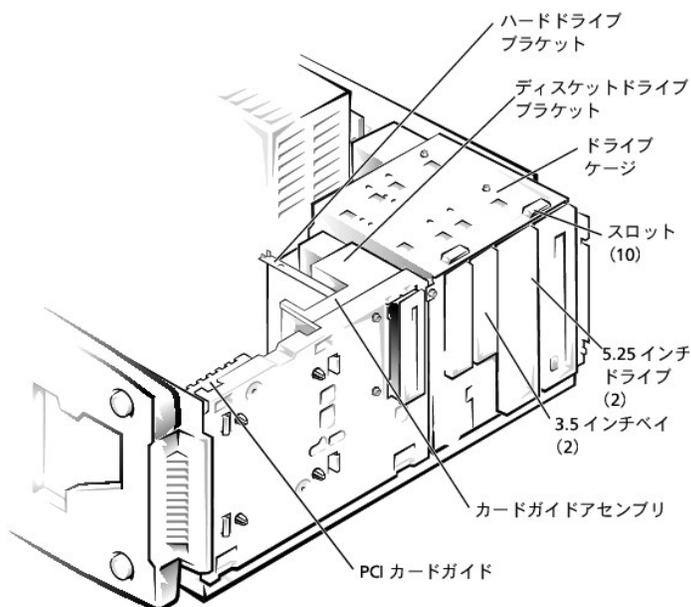
Dell™ PowerEdge™ 500SG システム インストール&トラブルシューティング

- [EIDEサブシステムの構成](#)
- [起動デバイスの設定](#)
- [ドライブの接続](#)
- [ドライブケースの取り外しと取り付け](#)
- [ハードドライブの追加または交換](#)
- [その他のドライブの追加または交換](#)

お使いのシステムには、次のタイプのドライブを取り付けるためのドライブベイが6つあります (図7-1参照)。

- 1 システムの前面のフロントドライブベイは、3.5インチディスクドライブを1台搭載する3.5インチのドライブベイ1つ(標準)、および5.25インチデバイス(通常CDドライブとテープドライブなどのその他のデバイス)を2台まで搭載できる5.25インチのハーフハイトドライブベイ2つで構成されています。
- 1 3つの内蔵3.5インチドライブベイには、1インチEIDEハードドライブを3台まで取り付けることができます。

図7-1. ドライブベイ



次項では、ドライブの取り付けにあたっての一般的な情報および必要作業について説明します。残りの項では、各種ドライブの取り外しと取り付けの手順を説明します。

EIDEサブシステムの構成

EIDEサブシステムには、IDEインタフェース(プライマリおよびセカンド)が2つ含まれています。各インタフェースは、大容量ハードドライブ、CDFドライブ、DVDFドライブ、テープドライブなどのIDEデバイス2台までサポートすることができます。

すべてのIDEデバイスのCable Selectジャンパ位置を構成します。それによって、デバイスのインタフェースケーブルの位置に応じて、マスタおよびスレーブ状態がデバイスに割り当てられます。この構成において、インタフェースケーブルの最後のコネクタに取り付けられたドライブは、マスタまたは起動ドライブ(ドライブ0)に、そしてインタフェースケーブルの中央のコネクタに取り付けられたドライブは、スレーブドライブ(ドライブ1)になります。ドライブジャンパは、各IDEドライブの背面にあります。Cable Selectジャンパ位置を設定する手順については、ドライブのマニュアルを参照してください。

起動デバイスの設定

システムをハードドライブから起動する場合、ハードドライブをプライマリIDEコントローラに接続する必要があります。システムがどのデバイスから起動するかは、セットアップユーティリティで特定した起動順序によって決められています。

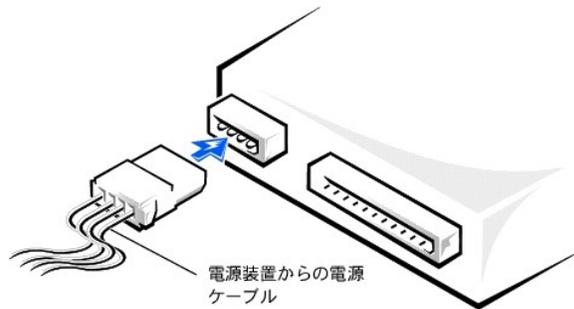
セットアップユーティリティは、取り付けられた起動デバイスをシステムがスキャンするために使用するオプションを提供します。セットアップユーティリティの詳細は、『ユーザーズガイド』を参照してください。

ドライブの接続

ドライブを取り付けるときは、2本のケーブル(DC電源ケーブルとインタフェースケーブル)をドライブの背面に接続します。ドライブの電源コネクタ(DC電源ケーブルの接続先)は、図7-2のようになってい

ます。

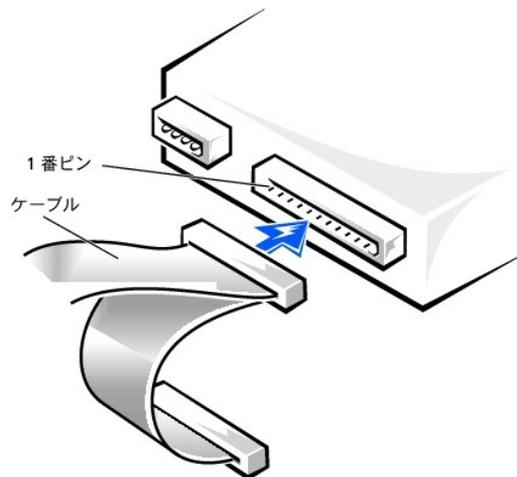
図7-2. 電源ケーブルの接続



➡ **注意:** インタフェースケーブルをドライブに接続するときは、ケーブルの色帯をドライブの1番ピンと合わせてください。

お使いのインタフェースコネクタは、[図7-3](#)に示すコネクタに類似しています。

図7-3. インタフェースケーブルの接続



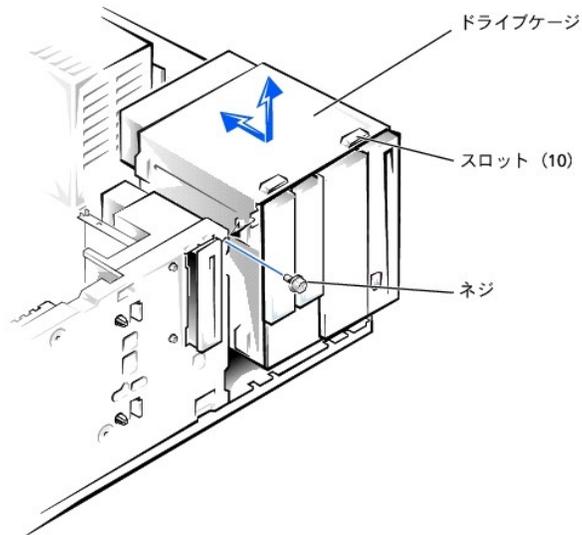
ドライブケースの取り外しと取り付け

ドライブケースには、2つの5.25インチベイおよび2つの3.5インチベイが搭載されています。

ドライブケースの取り外し

1. システムとすべての周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
3. ベゼルを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り外し](#)」を参照)。
4. インタフェースケーブルおよび電源ケーブルをドライブケースに取り付けられたすべてのドライブから外します。ドライブに取り付けられたすべてのケーブルの位置と向きを記録します。
5. ドライブケースの側面からネジを取り外します([図7-4](#)参照)。ドライブケースを手前に引いてロックを解除します。ドライブケースを持ち上げて外します。

図7-4. ドライブケースの取り外しと取り付け



ドライブケースの取り付け

1. ドライブケースのスロットをシステムの正面に少しだけ引き出した状態で、ドライブケースを下げ、ケースが所定の位置にロックされるまでシステムの背面へ向けて押し込みます (図7-4参照)。
2. 「[ドライブケースの取り外し](#)」の手順5で取り外したネジで、ドライブケースをシステムに固定します (図7-4参照)。
3. インタフェースケーブルおよび電源ケーブルをドライブケースに取り付けられたすべてのドライブに接続します。
4. ベゼルを取り付けます (「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。
5. システムカバーを取り付けます (「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。

ハードドライブの追加または交換

お使いのシステムには、1インチIDEハードドライブを3台まで取り付けることができるベイまたはブラケットが組み込まれています。

- **注意:** ハードドライブを交換する場合、交換用のハードドライブのジャンパが取り外したハードドライブのジャンパと一致するように設定してください。IDEドライブのジャンパ設定の詳細については、「[EIDEサブシステムの構成](#)」を参照してください。

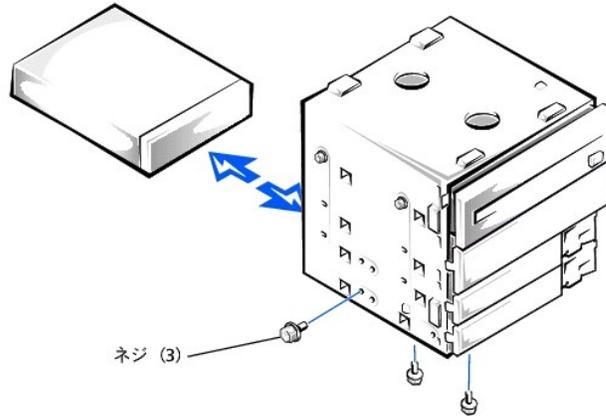
ハードドライブのドライブケースへの追加または交換

ドライブケースの2つの3.5インチベイには、それぞれ1台の1インチIDEハードドライブを搭載できます。

下段の3.5インチベイからのハードドライブの取り外し

1. システムとすべての周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します (「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
3. ベゼルを取り外します (「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り外し](#)」を参照)。
4. ドライブケースをシステムから取り外します (「[ドライブケースの取り外し](#)」参照)。
5. 底面から2本と左側から1本の合わせて、3本のドライブ取り付けネジを取り外します (図7-5参照)。

図7-5. 下段の3.5インチベイへのハードドライブの取り付けと取り外し



6. ケージの背面からハードドライブを引き出します。
7. ドライブケージをシステムに取り付けます(「[ドライブケージの取り付け](#)」参照)。
8. ベゼルを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。
9. システムカバーを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。

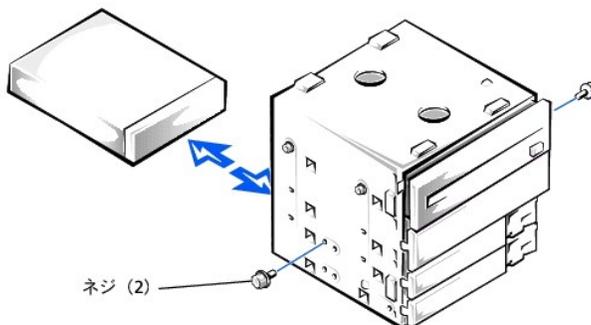
下段の3.5インチベイへのハードドライブの取り付け

1. システムとすべての周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
3. ベゼルを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り外し](#)」を参照)。
4. ドライブケージをシステムから取り外します(「[ドライブケージの取り外し](#)」参照)。
5. ドライブをベイ底面の2本の小さな溝の上に乗せて、ベイの背面開口部に押し込みます。
6. 底面の2本と左側の1本の合わせて3本のドライブ取り付けネジを使用して、ドライブを固定します(図7-5参照)。
7. ドライブケージをシステムに取り付けます(「[ドライブケージの取り付け](#)」参照)。
8. ベゼルを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。
9. システムカバーを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。
10. システムおよびすべての外付けデバイスをコンセントに接続し、電源を入れます。
11. ハードドライブが動作するために必要なすべてのソフトウェアのインストール方法については、ドライブのマニュアルを参照してください。

上段の3.5インチベイからのハードドライブの取り外し

1. システムとすべての周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
3. ベゼルを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り外し](#)」を参照)。
4. ドライブケージをシステムから取り外します(「[ドライブケージの取り外し](#)」参照)。
5. ドライブをドライブケージに固定している2個のネジを取り外します(図7-6参照)。ドライブケージの右側にある網状スロットにプラスドライバを挿入し、ドライブの右側を固定しているネジにアクセスします。

図7-6. 上段の3.5インチベイへのハードドライブの取り付けと取り外し



6. ケージの背面からハードドライブを引き出します。
7. ドライブケージをシステムに取り付けます(「[ドライブケージの取り付け](#)」参照)。
8. ベゼルを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。

9. システムカバーを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。

上段の3.5インチベイへのハードドライブの取り付け

1. システムとすべての周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
3. ベゼルを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り外し](#)」を参照)。
4. ドライブケースを取り外します(「[ドライブケースの取り外し](#)」参照)。
5. ドライブケースの背面からハードドライブをベイに押し込みます。
6. [図7-6](#)に示す2本のネジで、ハードドライブをドライブケースに固定します。ドライブ右側のネジを固定するには、ドライブケース右側にある網状スロットにプラスドライバを挿入した状態で、ドライブケース背面を通してネジ穴の上にネジを置きます。
7. ドライブケースをシステムに取り付けます(「[ドライブケースの取り付け](#)」参照)。
8. ベゼルを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。
9. システムカバーを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。
10. システムおよびすべての外付けデバイスをコンセントに接続し、電源を入れます。
11. ハードドライブが動作するために必要なすべてのソフトウェアのインストール方法については、ドライブのマニュアルを参照してください。

ハードドライブのカードガイドアセンブリへの追加または交換

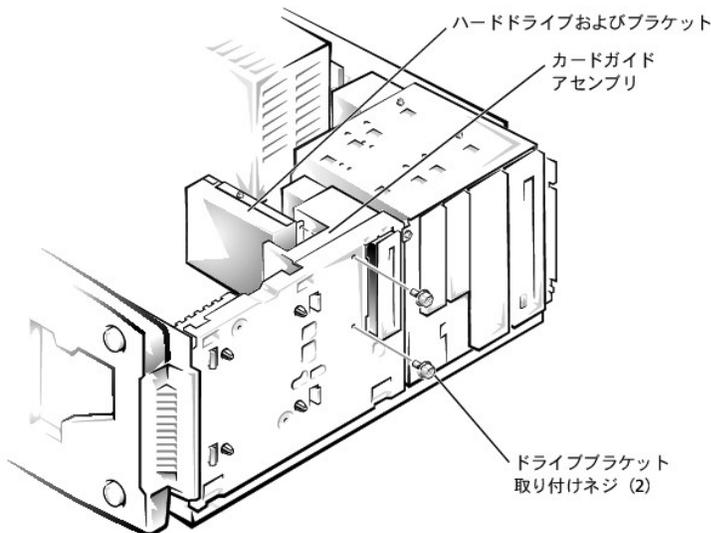
フロッピードライブの隣の3.5インチベイには、1台の1インチIDEハードドライブを搭載できます。

- ⚠ **注意:** ハードドライブをカードケースの隣のカードケースアセンブリブラケットの下段に取り付けしないでください。このシステムでは、ドライブのカードケースアセンブリブラケットの下段への取り付けはサポートされていません。

ハードドライブのカードガイドアセンブリブラケットからの取り外し

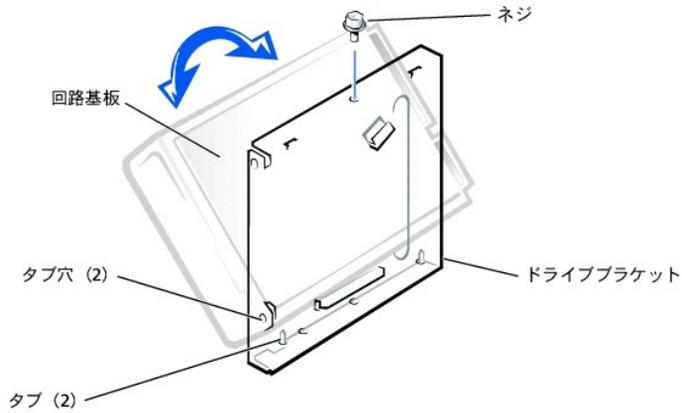
1. システムとすべての周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
3. ベゼルを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り外し](#)」を参照)。
4. インタフェースケーブルおよび電源ケーブルをハードドライブから外します。
5. ドライブブラケットを固定しているネジを取り外します([図7-7](#)参照)。
6. ドライブブラケットおよびハードドライブをシステムの背面へ向けスライドし、システムから持ち上げて取り外します。

図7-7. ハードドライブおよびドライブブラケットの取り外し



7. ハードドライブをドライブブラケットに固定しているネジを取り外し、ドライブを取り外します([図7-8](#)参照)。

図7-8. ハードドライブの取り外しまたは取り付け

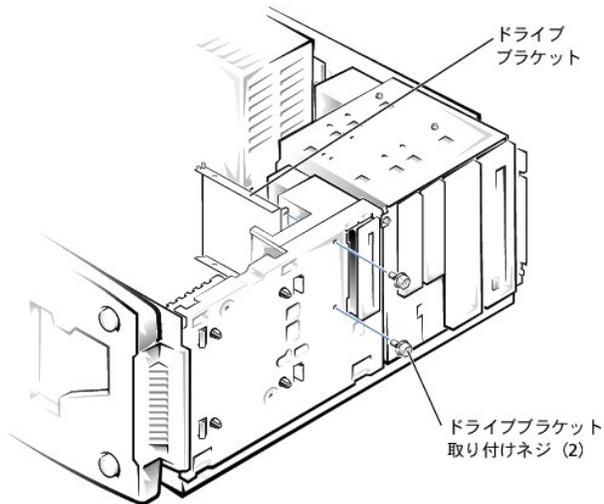


8. ブラケットタブをシステムのスロットに合わせ、ブラケットを所定の位置に押し込みます。手順5で取り外したネジでブラケットを固定します。
9. ベゼルを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。
10. システムカバーを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。

ハードドライブのカードガイドアセンブリブラケットへの取り付け

1. システムとすべての周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
3. ベゼルを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り外し](#)」を参照)。
4. 上部ドライブブラケットを固定しているネジを取り外し、ブラケットを持ち上げてシステムから取り外します(図7-9参照)。

図7-9. ドライブブラケットの取り外し



5. ドライブの回路基板が、ブラケットの内側に面するようにドライブを向けます。
6. ブラケットタブをドライブ側面の2つのタブ穴に合わせ、ドライブをブラケットに取り付けます。図7-8に示すように、ネジを固定します。
7. ブラケットタブをシステムのスロットに合わせ、ハードドライブとブラケットを所定の位置に押し込みます。手順4で取り外したネジでブラケットを固定します。
8. ハードドライブに電源ケーブルを接続します。

➡ **注意:** インタフェースケーブルをハードドライブに接続するときは、ケーブルの色帯をドライブの1番ピンと合わせてください。

9. インタフェースケーブルをハードドライブに接続します。
10. ベゼルを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。
11. システムカバーを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。
12. システムおよびすべての外付けデバイスをコンセントに接続し、電源を入れます。
13. ドライブが動作するために必要なすべてのソフトウェアのインストール方法については、ドライブのマニュアルを参照してください。

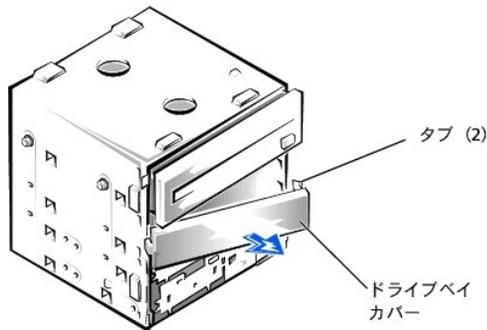
その他のドライブの追加または交換

お使いのシステムには、ディスクドライブとCDドライブが組み込まれています。次項の手順を使用して、DVDドライブやテープドライブなどのドライブを追加できます。

5.25インチデバイスの追加

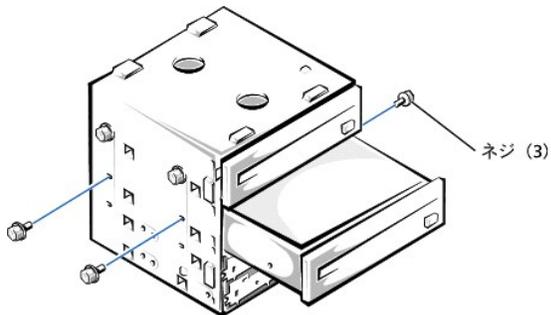
1. システムとすべての周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
3. ベゼルを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り外し](#)」を参照)。
4. ドライブケースをシステムから取り外します(「[ドライブケースの取り外し](#)」参照)。
5. ドライブベイカバーの2つのタブを押し込み、ベイカバーを手前に開いて取り外します(図7-10参照)。

図7-10. ドライブベイカバーの取り外し



6. 新しいドライブをスライドさせてベイに差し込み、3本のネジでドライブを固定します(図7-11参照)。

図7-11. 5.25インチデバイスの取り付けまたは取り外し



7. ドライブケースをシステムに取り付けます(「[ドライブケースの取り付け](#)」参照)。
8. ベゼルを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。
9. システムカバーを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。
10. システムおよびすべての外付けデバイスをコンセントに接続し、電源を入れます。
11. ドライブが動作するために必要なすべてのソフトウェアのインストール方法については、ドライブのマニュアルを参照してください。

5.25インチデバイスの取り外し

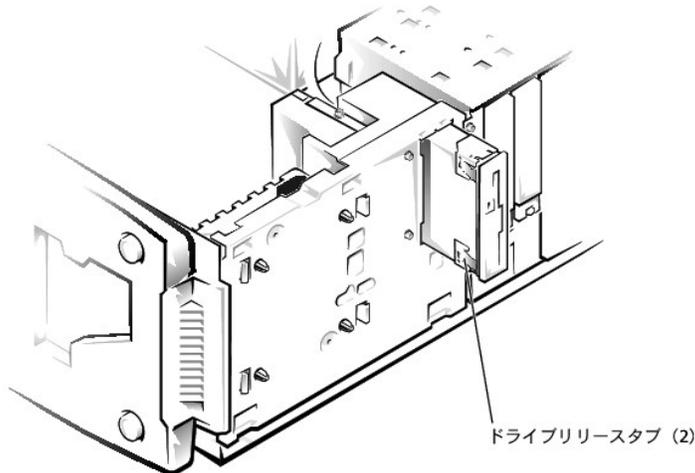
1. システムとすべての周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
3. ベゼルを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り外し](#)」を参照)。
4. ドライブケースを取り外します(「[ドライブケースの取り外し](#)」参照)。
5. 3本のドライブ取り付けネジを取り外し、ドライブをドライブベイから引き出します(図7-11参照)。
6. ドライブケースをシステムに取り付けます(「[ドライブケースの取り付け](#)」参照)。
7. ベゼルを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。

8. システムカバーを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。

ディスクドライブの取り外し

1. システムとすべての周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
3. ベゼルを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り外し](#)」を参照)。
4. 電源ケーブルおよびインタフェースケーブルをディスクドライブの背面から取り外します。
5. 2つのドライブリリーススタブを押し、ドライブをドライブベイから引き出します(図7-12参照)。

図7-12. ディスクドライブの取り外しと取り付け



6. ベゼルを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。
7. システムカバーを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。

ディスクドライブの取り付け

1. システムとすべての周辺機器の電源を切って、システムの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. システムカバーを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り外し](#)」を参照)。
3. ベゼルを取り外します(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り外し](#)」を参照)。
4. 新しいディスクドライブを取り付ける前に、ドライブリリーススタブを取り外したドライブから交換用のドライブに移します。
5. 2つのドライブリリーススタブが固定されるまで、ディスクドライブをドライブベイに押し込みます(図7-12参照)。
6. 電源ケーブルおよびディスクドライブインタフェースケーブルをディスクドライブに接続します。
7. ベゼルを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[ベゼルの取り付け](#)」を参照)。
8. システムカバーを取り付けます(「システムのトラブルシューティング」の「[システムカバーおよびサポートレバーの取り付け](#)」を参照)。
9. システムおよびすべての外付けデバイスをコンセントに接続し、電源を入れます。
10. ドライブが動作するために必要なすべてのソフトウェアのインストール方法については、ドライブのマニュアルを参照してください。

[目次ページに戻る](#)

困ったときは

Dell™ PowerEdge™ 500SC システム インストール&トラブルシューティング

- [ヘルプの概要](#)
- [Dellお問い合わせ番号](#)

ヘルプの概要

本章ではシステムに問題が発生した場合に、その解決の手助けとなる、Dellが提供しているツールについて説明します。また、どの時点でどのようにDellのテクニカルサポートに連絡するか説明しています。

テクニカルサポート

技術上の問題に関するサポートを受けなければならないときは、以下の手順に従ってください。

1. 本書の「トラブルシューティング」の手順を完了します。
2. システム診断プログラムを実行します。

「[システム診断プログラムの実行](#)」を参照してください。

3. 診断チェックリストを印刷し、それに記入します。
4. インストールとトラブルシューティングの手順に関しては、Dellのサポートウェブサイト(<http://support.jp.dell.com>)をご覧ください。

詳細については、「[World Wide Web](#)」を参照してください。

5. これまでの手順で問題が解決されず、Dellの技術者に問い合わせなければならないときは、Dellのテクニカルサポートにお電話ください。

Dellのオートテレフォンシステムの指示に従って、**エクスプレスサービスコード**(8桁から11桁までの全桁数字のみの番号)は、コンピュータの前面、背面、または側面に貼られているシールに、サービスタグナンバー(5桁もしくは7桁までの英数字混合の番号)と共に、記載されています(コンピュータ前面パネル内に貼られている機種もあります)。

 **メモ:** Dellのエクスプレスサービスコードシステムが利用できない国もあります。

テクニカルサポートにお問い合わせになるときは、「[テクニカルサポートサービス](#)」および「[お問い合わせになる前に](#)」に記載の番号にご連絡ください。

ヘルプツール

Dellは、ユーザーを支援するための多数のツールを提供しています。以降では、これらのツールについて説明します。

World Wide Web

インターネットは、ご使用のシステムやその他のDell製品に関する情報を得るための最も強力なツールです。ご注文状況、テクニカルサポート、製品情報などにインターネットからアクセスできます。

Dellのサポートウェブサイトへは、<http://support.jp.dell.com>でアクセスすることができます。また、<http://support.dell.com>のサイトで表示された地図上のお住まいの国をクリックすると、Welcome to support.jp.dell.comページが開きます。お使いのシステムの情報を入力し、サポートツールおよび情報にアクセスします。

インターネット上でのDellへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- 1 World Wide Web

<http://www.dell.com/jp/> (日本)

<http://www.dell.com> (北米)

<http://www.dell.com/ap/> (アジア/太平洋諸国のみ)

<http://www.euro.dell.com> (ヨーロッパのみ)

<http://www.dell.com/la/> (ラテンアメリカ諸国のみ)

FaxBoxサービス(ファックス情報サービス)

Dell FaxBoxサービス(ファックス情報サービス)は、フリーダイヤルでファクシミリを使用して24時間年中無休で技術情報を提供するサービスです。

プッシュホン式の電話から必要なトピックを選択します。テクニカル情報が指定したファックス番号宛に送信されます。FaxBoxサービス(ファックス情報サービス)の電話番号については、「Dellへのお問い合わせ」を参照してください。

24時間納期情報案内サービス

注文したDell製品の状況をチェックすることができます。電話番号については、「Dellお問い合わせ番号」を参照してください。オンラインでも納期状況をご確認いただけます。

テクニカルサポートサービス

Dell製品に関するお問い合わせは、Dellのテクニカルサポートをご利用ください。

テクニカルサポートに電話をおかけになると、サポートスタッフがお問い合わせ内容の確認のために、ご使用のシステムの詳細をお聞きすることがあります。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

テクニカルサポートにお問い合わせになる場合は、まず「[お問い合わせになる前に](#)」を参照してから、「[Dellお問い合わせ番号](#)」に記載の番号にご連絡ください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題があれば、Dellカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。電話番号は、「[Dellお問い合わせ番号](#)」を参照してください。

製品情報

Dellが提供しているその他の製品に関する情報が必要な場合や、ご注文になりたい場合は、Dellのウェブサイトの<http://www.dell.com/jp/>をご覧ください。電話で販売担当者と話をしたいときは、「[Dellお問い合わせ番号](#)」を参照してください。

保証期間中の修理もしくは返品について

製品を修理する場合(引き取り修理対応機種のみ)

Dellテクニカルサポートの担当者は、ご使用のシステムに関する問題の解決にあたりますが、修理が必要と判断された場合は修理のためにシステムやその備品の返送をお願いすることがあります。

1. テクニカルサポートのお電話でシステムを引き取りに何う日程、システム梱包用の箱の有無、引き取る場所、連絡先を確認させていただきます。システムと同梱すべきものがある場合は、その際にご案内いたします。
2. 指定の日、指定の場所に提携宅配業者がシステムを引き取りにお伺いします。梱包用の箱をお持ちの場合は、それまでにシステムの梱包を終えてください。また、サービスタグナンバー (Service Tag #・5桁または7桁の英数字で、通常バーコードが記載された細長いシール上に書かれています。このシールは、ノートパソコンの場合はシステムの底面、デスクトップパソコンの場合は本体の背面あるいは側面に貼られています)をお手元に控えておかれるようお願いいたします。このサービスタグナンバーはシステムに関するお問い合わせの際に必要です。

修理以外の理由で製品を返品する場合

1. はじめにDellの営業担当者にご連絡ください。Dellから製品返送用のRMAナンバー(返却番号)をお知らせいたしますので梱包する箱の外側にははっきりとよくわかるように書き込んでください。
2. 製品返却手続きのご案内用紙をファックス(または郵送)でお送りします。返却する製品を、購入時に入っていた箱に梱包し、上記のご案内用紙から返却シートを切り離して箱に貼付します。コンピュータ本体を返品される場合は、返却手続きのご案内に記載されているサービスタグナンバーと、製品に貼付されているサービスタグナンバーが一致しているか、必ずご確認ください。(サービスタグナンバーに関しては「製品を修理する場合」の手順2を参照してください)電源コード、ソフトウェアディスク、マニュアルなどの付属品も全て製品と同梱してください。
3. 集荷依頼窓口へ電話し、集荷希望の日時・場所を伝えます。

運送中に破損、紛失、盗難などに遭った場合、Dellでは一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

以上の条件が満たされていない場合は、そのままお客様へ返送させていただくことがあります。

お問い合わせになる前に

必ず診断チェックリストに記入してください。Dellへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、システムの近くの電話から電話をかけてください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、システム自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

テクニカルサポートをご利用の際は、製品本体のラベルに記載されているエクスプレスサービスコードまたはサービスタグナンバーが必要になります。お電話をおかけいただくと、エクスプレスサービスコードを自動音声でおうかがいします。エクスプレスサービスコードをもとにお客様の情報を確認し、弊社担当者に電話をおつなぎ致します。

エクスプレスサービスコードは、サービスタグナンバーを全桁数字に変換した弊社製品の固有の管理番号です。製品本体のラベルに8桁から11桁までの数字のみの番号で記載されています。エクスプレスサービスコードが本体にない製品をお持ちのお客様のために、弊社Webサポートページで変換ツールをご用意しております。

サービスタグナンバーは、英数字混合の5桁もしくは7桁の弊社製品の固有の管理番号です。サービスタグナンバーでもテクニカルサポートをご利用いただけますが、弊社Webサポートページで変換したエクスプレスサービスコードをご用意の上、お電話いただくことをお勧めいたします。

 **警告:** システム内部のコンポーネントの作業をする前に、「[作業にあたっての注意](#)」を参照してください。

診断チェックリスト	
名前： _____	日付： _____
住所： _____	電話番号： _____
サービスタグ（コンピュータ背面のバーコード）： _____	
エクスプレスサービスコード： _____	
返品番号（Dell サポート技術者から提供された場合）： _____	
オペレーティングシステムとバージョン： _____	
周辺機器： _____	

拡張カード： _____	

ネットワークに接続されていますか？ はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	
ネットワーク、バージョン、ネットワークカード： _____	
プログラムとバージョン： _____	

システムのスタートアップファイルの内容を確認するときは、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。 可能であれば、各ファイルを印刷します。印刷できない場合は、各ファイルの内容を記録してから Dell に電話してください。	
エラーメッセージ、ビープコードまたは診断コード： _____	
問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順： _____	

Dellお問い合わせ番号

Dellへお問い合わせになるときは、各国のDellの電話番号、ウェブサイト、電子メールアドレスをまとめた次の表を参照してください。

どのコードを選択するかは、どこから電話をかけるか、また受信先によっても異なります。さらに、国によって国際電話のかけ方も変わってきます。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

 **メモ：**フリーダイヤル番号は、その番号が記載されている国でのみ使用できます。市外局番は、国内長距離電話の際にご使用ください。

国(都市) 国際電話アクセスコード 市外局番	部署名またはサービス内容 ウェブサイトおよび電子メールアドレス	市外局番 市内番号または フリーダイヤル
日本(川崎)	テクニカルサポート(サーバ)	フリーダイヤル: 120-1984-35
国際電話アクセスコード: 001	テクニカルサポート (DimensionおよびInspiron)	フリーダイヤル: 120-1982-26
国番号: 81	テクニカルサポート(海外から) (DimensionおよびInspiron)	81-44-520-1435
市外局番: 44	テクニカルサポート(Dell Precision, OptiplexおよびLatitude)	フリーダイヤル: 120-1984-33
	テクニカルサポート (Dell Precision, Optiplex, Latitude)	81-44-556-3894
	24時間納期情報案内サービス	044 556-3801
	カスタマーケア	044 556-4240
	ダイレクトセールス営業部	044 556-3344
	ビジネスセールス本部(従業員数400人未満)	044 556-3344
	法人営業本部(従業員数400人以上)	044 556-3433

	エンタープライズ営業本部 (従業員数3500人以上)	044 556-3430
	官公庁／研究・教育機関／医療機関セールス	044 556-1469
	Dellグローバルジャパン	044 556-3469
	個人のお客様	044 556-3344
	Faxboxサービス	044 556-3490
	代表	044 556-4300
	ウェブサイト http://support.jp.dell.com	
オーストラリア(シドニー)	Home/Small Business	1-300-65-55-33
国際電話アクセスコード:0011	Government/Business	フリーダイヤル:1-800-633-559
国番号:61	PAD(優先アカウント部門)	フリーダイヤル:1-800-60-889
市外局番:2	カスタマーケア	フリーダイヤル:1-800-819-339
	法人セールス	フリーダイヤル:1-800-808-385
	ダイレクトセールス	フリーダイヤル:1-800-808-312
	Fax	フリーダイヤル:1-800-818-341
オーストリア(ウィーン)	Home/Small Businessセールス	01 795 67602
国際電話アクセスコード:900	Home/Small Business Fax	01 795 67605
国番号:43	Home/Small Businessカスタマーケア	01 795 67603
市外局番:1	優先アカウント／法人カスタマーケア	0660 8056
	Home/Small Businessテクニカルサポート	01 795 67604
	優先アカウント／法人テクニカルサポート	0660 8779
	代表	01 491 04 0
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com	
	電子メール:tech_support_germany@dell.com	
ベルギー(ブリュッセル)	テクニカルサポート	02 481 92 88
国際電話アクセスコード:00	カスタマーケア	02 481 91 19
国番号:32	Home/Small Businessセールス	フリーダイヤル:0800 16884
市外局番:2	法人セールス	02 481 91 00
	Fax	02 481 92 99
	代表	02 481 91 00
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com	
	電子メール:tech_be@dell.com	
ブラジル	カスタマーサポート、テクニカルサポート	0800 90 3355
国際電話アクセスコード:0021	セールス	0800 90 3366
国番号:55	ウェブサイト http://www.dell.com/br	
市外局番51		
ブルネイ	カスタマーテクニカルサポート (マレーシア、ペナン)	604 633 4966
国番号:673	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)	604 633 4949
	ダイレクトセールス(マレーシア、ペナン)	604 633 4955
カナダ(オンタリオ州ノースヨーク)	自動オーダーステータスシステム	フリーダイヤル:1-800-433-9014
国際電話アクセスコード:011	AutoTech(自動テクニカルサポート)	フリーダイヤル:1-800-247-9362
	カスタマーケア(トロント市外から)	フリーダイヤル:1-800-387-5759
	カスタマーケア(トロント市内から)	416 758-2400
	カスタマーテクニカルサポート	フリーダイヤル:1-800-847-4096
	セールス(ダイレクトセールス、トロント市外から)	フリーダイヤル:1-800-387-5752
	セールス(ダイレクトセールス、トロント市内から)	416 758-2200
	セールス(連邦政府、教育、医療)	フリーダイヤル:1-800-567-7542
	セールス(大口顧客)	フリーダイヤル:1-800-387-5755
	TechFax	フリーダイヤル:1-800-950-1329
チリ(サンティアゴ)	セールス、カスタマーサービス、テクニカルサポート	フリーダイヤル: 1230-020-4823
国番号:56		
市外局番2		
中国(厦門)	テクニカルサポート	フリーダイヤル:800 858 2437
国番号:86	カスタマーエクスペリエンス	フリーダイヤル:800 858 2060
市外局番592	Home/Small Business	フリーダイヤル:800 858 2222
	優先アカウント部門	フリーダイヤル:800 858 2062
	大口法人アカウント	フリーダイヤル:800 858 2999
チェコ共和国(プラハ)	テクニカルサポート	02 22 83 27 27
国際電話アクセスコード:00	カスタマーケア	02 22 83 27 11
	Fax	02 22 83 27 14

国番号:420 市外局番2	TechFax	02 22 83 27 28	
	代表	02 22 83 27 11	
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com		
	電子メール: czech_dell@dell.com		
デンマーク(オスロ) 国際電話アクセスコード:00 国番号:45	テクニカルサポート	45170182	
	Latitude/OptiPlex/Precisionカスタマーケア	45170184	
	Home/Small Businessカスタマーケア	32875505	
	代表	45170100	
	Faxテクニカルサポート (スウェーデン、アップランズヴェズビー)	46 0 859005594	
	Fax代表	45170117	
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com		
	電子メール: den_support@dell.com サーバ専用電子メールサポート: Nordic_server_support@dell.com		
フィンランド(ヘルシンキ) 国際電話アクセスコード:990 国番号:358 市外局番:9	テクニカルサポート	09 253 313 60	
	テクニカルサポートFax	09 253 313 81	
	Latitude/OptiPlex/Precisionカスタマーケア	09 253 313 38	
	Home/Small Businessカスタマーケア	09 693 791 94	
	Fax	09 253 313 99	
	代表	09 253 313 00	
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com		
	電子メール: fin_support@dell.com		
	フランス(パリ・モンペリエ) 国際電話アクセスコード:00 国番号:33 市外局番:(1)(4)	Home/Small Business	
		テクニカルサポート	0825 387 270
カスタマーケア		0825 823 833	
代表		0825 004 700	
代表(代替)		04 99 75 40 39	
セールス		0825 004 700	
Fax		0825 004 701	
ウェブサイト http://support.euro.dell.com			
電子メール: web_fr_tech@dell.com			
法人			
テクニカルサポート		0825 004 719	
カスタマーケア		0825 338 339	
代表		01 55 94 71 00	
セールス		01 55 94 71 00	
Fax		01 55 94 71 01	
ウェブサイト http://support.euro.dell.com			
電子メール: web_fr_tech@dell.com			
ドイツ(ランゲン) 国際電話アクセスコード:00 国番号:49 市外局番:6103	テクニカルサポート	06103 766-7200	
	テクニカルサポートFax	06103 766-9222	
	Home/Small Businessカスタマーケア	0180-5-224400	
	グローバルカスタマーケア	06103 766-9570	
	優先アカウントカスタマーケア	06103 766-9420	
	大口アカウントカスタマーケア	06103 766-9560	
	公共機関アカウントカスタマーケア	06103 766-9555	
	代表	06103 766-7000	
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com		
	電子メール: tech_support_germany@dell.com		
	香港 国際電話アクセスコード:001 国番号:852	テクニカルサポート	フリーダイヤル:800 96 4107
カスタマーサービス(マレーシア、ベナン)		604 633 4949	
ダイレクトセールス		フリーダイヤル:800 96 4109	
法人セールス		フリーダイヤル:800 96 4108	
アイルランド(チェリーウッド) 国際電話アクセスコード:16 国番号:353 市外局番:1	テクニカルサポート	0870 908 0800	
	カスタマーケア	01 204 4095	
	ホームユーズカスタマーケア	01 204 4026	
	スモールビジネスカスタマーケア	01 204 4003	
	セールス	01 286 0500	
	セールスFax	01 204 0144	
	Fax	0870 907 5590	
	代表	01 286 0500	

	ウェブサイトhttp://support.euro.dell.com	
	電子メール:dell_direct_support@dell.com	
イタリア(ミラノ)	Home/Small Business	
国際電話アクセスコード:00	テクニカルサポート	02 577 826 90
国番号:39	カスタマーケア	02 696 821 14
市外局番02	Fax	02 696 824 13
	代表	02 696 821 12
	ウェブサイトhttp://support.euro.dell.com	
	電子メール:web_it_tech@dell.com	
	法人	
	テクニカルサポート	02 577 826 90
	カスタマーケア	02 577 825 55
	Fax	02 575 035 30
	代表	02 577 821
	ウェブサイトhttp://support.euro.dell.com	
	電子メール:web_it_tech@dell.com	
韓国(ソウル)	テクニカルサポート	フリーダイヤル:80-200-3800
国際電話アクセスコード:001	セールス	フリーダイヤル:80-200-3777
国番号:82	カスタマーケア(ソウル)	2194-6220
市外局番:2	カスタマーサービス(マレーシア、ベナン)	604 633 4949
	Fax	2194-6202
	代表	2194-6000
ラテンアメリカ	カスタマーテクニカルサポート (米国、テキサス州オースティン)	512 728-4093
	カスタマーサービス(米国、テキサス州オースティン)	512 728-3619
	Fax(テクニカルサポートおよびカスタマーケア)(米国、テキサス州オースティン)	512 728-3883
	セールス(米国、テキサス州オースティン)	512 728-4397
	セールスFax(米国、テキサス州オースティン)	512 728-4600 または512 728-3772
ルクセンブルグ	テクニカルサポート(ベルギー、ブリュッセル)	02 481 92 88
国際電話アクセスコード:00	Home/Small Businessセールス (ベルギー、ブリュッセル)	フリーダイヤル:080016884
国番号:352	法人セールス(ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 00
	カスタマーケア(ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 19
	Fax(ベルギー、ブリュッセル)	02 481 92 99
	代表(ベルギー、ブリュッセル)	02 481 91 00
	ウェブサイトhttp://support.euro.dell.com	
	電子メール:tech_be@dell.com	
マカオ	テクニカルサポート	フリーダイヤル:0800 582
国番号:853	カスタマーサービス(マレーシア、ベナン)	604 633 4949
	ダイレクトセールス	フリーダイヤル:0800 581
マレーシア(ベナン)	テクニカルサポート	フリーダイヤル:1 800 888 298
国際電話アクセスコード:00	カスタマーサービス	04 633 4949
国番号:60	ダイレクトセールス	フリーダイヤル:1 800 888 202
市外局番:4	法人セールス	フリーダイヤル:1 800 888 213
メキシコ	自動オーダーステータスシステム (米国、テキサス州オースティン)	512 728-0685
国際電話アクセスコード:95	Auto Tech(自動テクニカルサポート) (米国、テキサス州オースティン)	512 728-0686
国番号:52	カスタマーテクニカルサポート	525 228-7870
市外局番:5	セールス	525 228-7811 または フリーダイヤル:91-800-900-37 または フリーダイヤル:91-800-904-49
	カスタマーサービス	525 228-7878
	代表	525 228-7800
オランダ(アムステルダム)	テクニカルサポート	020 581 8838
国際電話アクセスコード:00	カスタマーケア	020 581 8740
国番号:31	Home/Small Businessセールス	フリーダイヤル:0800-0663
市外局番:20	Home/Small BusinessセールスFax	020 682 7171
	法人セールス	020 581 8818
	法人セールスFax	020 686 8003
	Fax	020 686 8003

	代表	020 581 8818
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com	
	電子メール:tech_nl@dell.com	
ニュージーランド	Home/Small Business	0800 446 255
国際電話アクセスコード:00	Government/Business	0800 444 617
	セールス	0800 441 567
国番号:64	Fax	0800 441 566
ノルウェー(リサケー)	テクニカルサポート	671 16882
国際電話アクセスコード:00	Latitude/OptiPlex/Precisionカスタマーケア	671 17514
	Home/Small Businessカスタマーケア	23162298
国番号:47	代表	671 16800
	Faxテクニカルサポート (スウェーデン、アップランズヴェズビー)	46 0 85 590 05 594
	Fax代表	671 16865
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com	
	電子メール:nor_support@dell.com	
	サーバ専用電子メールサポート: Nordic_server_support@dell.com	
ポーランド(ワルシャワ)	テクニカルサポート	22 57 95 700
国際電話アクセスコード:011	カスタマーケア	22 57 95 999
	セールス	22 57 95 999
国番号:48	Fax	22 57 95 998
市外局番22	代表	22 57 95 999
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com	
	電子メール:pl_support@dell.com	
ポルトガル	テクニカルサポート	35 800 834 077
国際電話アクセスコード:00	カスタマーケア	800 300 415 または35 800 834 075
国番号:35	セールス	800 300 410または 800 300 411または 800 300 412 または 351 214 220 710
	Fax	351 214 240 112
	電子メール:es_support@dell.com	
シンガポール	テクニカルサポート	フリーダイヤル:800 6011 51
国際電話アクセスコード:005	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)	604 633 4949
	ダイレクトセールス	フリーダイヤル:800 6011 054
国番号:65	法人セールス	フリーダイヤル:800 6011 053
南アフリカ(ヨハネスブルグ)	テクニカルサポート	011 709 7710
国際電話アクセスコード:09/091	カスタマーケア	011 709 7707
	セールス	011 709 7700
国番号:27	Fax	011 709 0495
市外局番11	代表	011 709 7700
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com	
	電子メール:dell_za_support@dell.com	
東南アジア/太平洋沿岸諸国	カスタマーテクニカルサポート、カスタマーサービス、セールス(マレーシア、ペナン)	604 633 4810
スペイン(マドリッド)	Home/Small Business	
国際電話アクセスコード:00	テクニカルサポート	902 100 130
	カスタマーケア	902 118 540
国番号:34	セールス	902 118 541
市外局番:91	代表	902 118 541
	Fax	902 118 539
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com	
	電子メール:web_esp_tech@dell.com	
	法人	
	テクニカルサポート	902 100 130
	カスタマーケア	902 118 546
	代表	91 722 92 00
	Fax	91 722 95 83
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com	
	電子メール:web_esp_tech@dell.com	
スウェーデン(アップランズヴェズビー)	テクニカルサポート	08 590 05 199
国際電話アクセスコード:00	Latitude/OptiPlex/Precisionカスタマーケア	08 590 05 642
	Home/Small Businessカスタマーケア	08 587 70 527

国番号: 46	Faxテクニカルサポート	08 590 05 594	
市外局番: 8	セールス	08 590 05 185	
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com		
	電子メール: swe_support@dell.com		
	LatitudeおよびInspiron専用電子メールサポート: swe_support@dell.com		
	OptiPlex専用電子メールサポート: Swe_kats@dell.com		
サーバ専用電子メールサポート: Nordic_server_support@dell.com			
スイス(ジュネーブ)	テクニカルサポート(Home/Small Business)	0844 811 411	
国際電話アクセスコード: 00	テクニカルサポート(法人)	0844 822 844	
	カスタマーケア(Home/Small Business)	0848 821 721	
国番号: 41	カスタマーサービス(法人)	0848 802 802	
市外局番: 22	Fax	022 799 01 90	
	代表	022 799 01 01	
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com		
	電子メール: swisstech@dell.com		
台湾	テクニカルサポート	フリーダイヤル: 0080 60 1255	
国際電話アクセスコード: 002	テクニカルサポート(サーバ)	フリーダイヤル: 0080 60 1256	
	ダイレクトセールス	フリーダイヤル: 0080 651 228 または800 33 556	
国番号: 886	法人セールス	フリーダイヤル: 0080 651 227 または800 33 555	
タイ	テクニカルサポート	フリーダイヤル: 880 060 07	
国際電話アクセスコード: 001	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)	604 633 4949	
	セールス	フリーダイヤル: 880 060 09	
イギリス(ブラックネル)	テクニカルサポート(法人/優先アカウント/PAD[従業員1000名以上])	0870 908 0500	
国際電話アクセスコード: 010	テクニカルサポート(ダイレクト/PADおよび一般)	0870 908 0800	
	グローバルアカウントカスタマーケア	01344 723186	
国番号: 44	法人カスタマーケア	0870 908 0500	
市外局番: 1344	優先アカウントカスタマーケア (従業員500-5000名)	01344 723196	
	中央政府機関カスタマーケア	01344 723193	
	地方政府機関カスタマーケア	01344 723194	
	Home/Small Businessセールス	0870 907 4000	
	法人/公共機関セクターセールス	01344 860456	
	ウェブサイト http://support.euro.dell.com		
	電子メール: dell_direct_support@dell.com		
米国(テキサス州オースティン)	自動オーダーステータシステム	フリーダイヤル: 1-800-433-9014	
国際電話アクセスコード: 011	AutoTech(ノートブックおよびデスクトップ コンピュータ用)	フリーダイヤル: 1-800-247-9362	
	Dell Home and Small Businessグループ(ノートブックおよびデスクトップコンピュータ用):		
国番号: 1	カスタマーテクニカルサポート(製品返送確認ナンバー)	フリーダイヤル: 1-800-624-9896	
	カスタマーテクニカルサポート (http://www.dell.com から購入のお客様用)	フリーダイヤル: 1-877-576-3355	
	カスタマーサービス(返金確認ナンバー)	フリーダイヤル: 1-800-624-9897	
	ナショナルアカウントシステムをお求めになったDell既定のナショナルアカウントのお客様(アカウントナンバーをお手元にご用意ください)、医療機関、または VARの場合:		
	カスタマーサービスおよびテクニカルサポート (製品返送ナンバー)	フリーダイヤル: 1-800-822-8965	
Public Americasインターナショナル(Dellシステムをお求めになった政府機関または教育機関の場合):			
カスタマーサービスおよびテクニカルサポート(製品返送ナンバー)	フリーダイヤル: 1-800-234-1490		
Dellセールス	フリーダイヤル: 1-800-289-3355 またはフリーダイヤル: 1-800-879-3355		
交換部品販売	フリーダイヤル: 1-800-357-3355		
DellWare™	フリーダイヤル: 1-800-753-7201		
デスクトップおよびノートブック有料テクニカルサポート	フリーダイヤル: 1-800-433-9005		
サーバ有料テクニカルサポート	フリーダイヤル: 1-800-967-0765		
セールス(カタログ)	フリーダイヤル: 1-800-426-5150		
Fax	フリーダイヤル: 1-800-727-8320		
TechFax	フリーダイヤル: 1-800-950-1329		

	聴覚・言語障害者のためのサービス	フリーダイヤル: 1-877-DELLTTY (1-877-335-5889)
	代表	512 338-4400
	Dellnetテクニカルサポート	フリーダイヤル: 1-877-Dellnet (1-877-335-5638)

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

Dell™ PowerEdge™ 500SC システム インストール&トラブルシューティング

- [メモ、注意、警告、および危険](#)
-

メモ、注意、警告、および危険

 **メモ:** システムの操作上、知っておくと便利な情報が記載されています。

 **注意:** ハードウェアの破損またはデータの損失の可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も示されています。

 **警告:** 問題を回避しないと、軽～中程度のけがを負う危険性があることを示します。

 **危険:** 問題を回避しないと、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。

[目次ページに戻る](#)